

2024年4月1日～2025年3月31日

働く人と企業の人材育成ニーズに応える短期スキルアップ研修

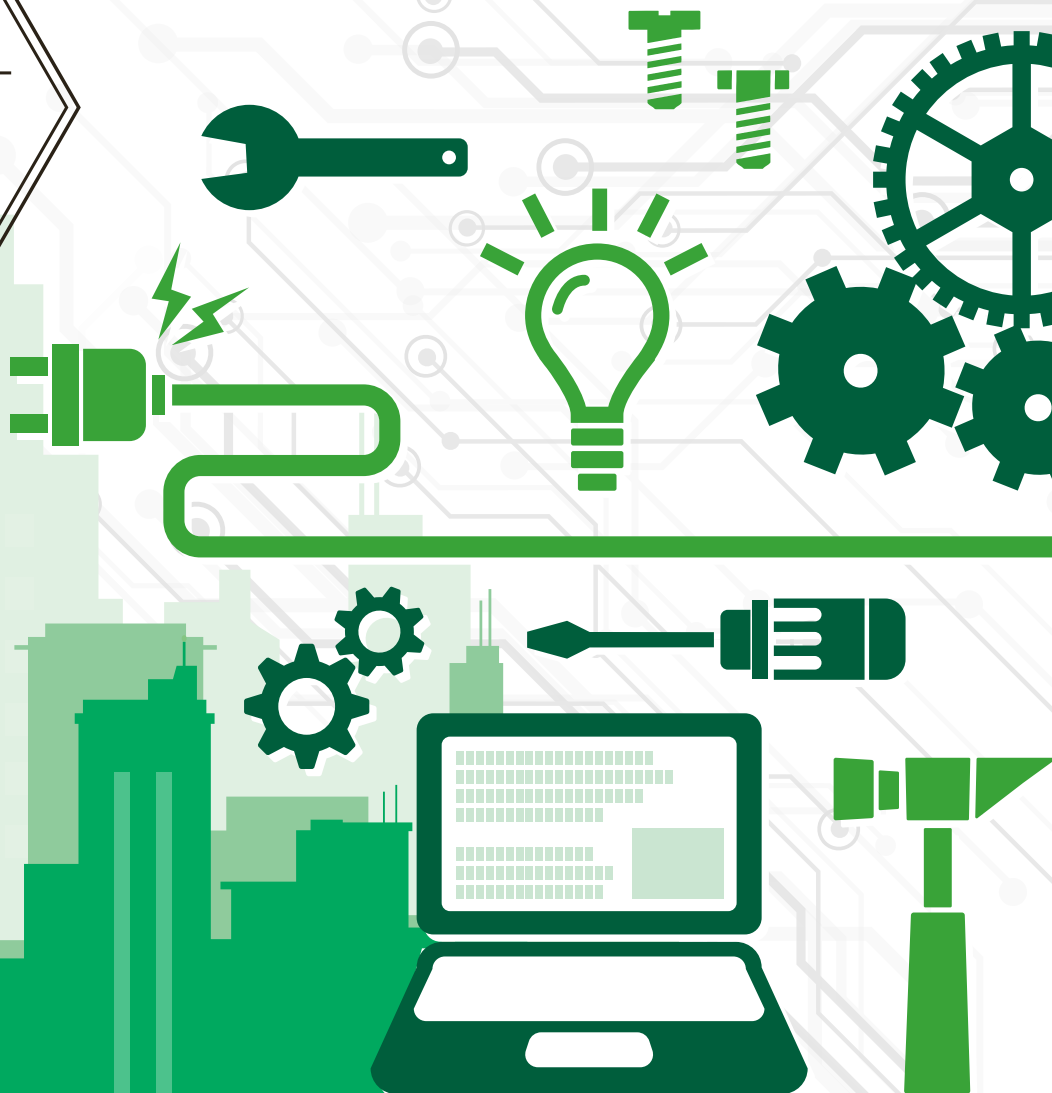
能力開発セミナー コースガイド2024



セミナー受講者
「役にたった」評価

99.3%!!

※2023年10月時点



らしく、はたらく、
ともに



厚生労働省所管・公共職業能力開発施設

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構栃木支部

ポリテクセンター栃木

(栃木職業能力開発促進センター)



能力開発セミナーとは



現場に即した実践的な技能を学ぶ！

ポリテクセンター栃木では、主に働く人と企業のニーズに応えるため、さまざまな分野のセミナーを多数ご用意してございます。

短期で効果・効率的に知識や技能を向上させる実践的なセミナーとして、当センターの能力開発セミナーをぜひご活用ください。

設計・開発

P18

機械加工

P23

測定評価

P33

シーケンス制御

P34

マイコン制御

P37

電子回路設計

P40

実装技術

P42

ビル設備

P43

住宅

P44

保全・管理・教育

P50

その他

P57

2023年度セミナー受講者の「役立った」評価

セミナー終了後、受講者と企業の方にアンケート調査の協力をお願いしています。お陰さまで役にたったとの声を多数頂いております。

99.3% ※2023年10月末時点



目次

- 能力開発セミナーとは…………… 2
- 受講のご案内…………… 3
- オーダーメイドセミナーについて…………… 4
- ポリテクセンター栃木ホームページのご案内…………… 5
- 全セミナーコース一覧…………… 6
- セミナー体系図「推奨フロー」…………… 8
- 年間コース一覧…………… 12
- セミナー詳細（コース名・内容等）…………… 18
- 受講者の声…………… 60

目次

- よくある質問Q&A…………… 64
- Information…………… 70
 - ・社員の採用を検討している事業主の皆様へ
 - ・生産性向上支援訓練のご案内
 - ・高齢・障害者業務課のご案内
 - ・高度ポリテクセンターのご案内
 - ・全国の能力開発セミナー検索方法
 - ・関東ブロック施設案内
 - ・国の助成金制度のご案内
 - ・栃木県立産業技術専門学校におけるスキルアップ講習のご案内
- ポリテクセンター栃木施設案内図…………… 83

受講のご案内

お申込みから受講まで

1 お申込み



- 希望のコースについて「能力開発セミナー受講申込書」に記入し、当センターあて電子メールまたはFAXにて送信してください。

E-mail : tochigi-poly04@jeed.go.jp
又はFAX : 028-622-9498

- 申込書は、ポリテクセンター栃木ホームページ「[在職者の方へ](#)」「[申込方法（手続の流れ）](#)」から用紙をダウンロードしていただくか、[能力開発セミナーパンフレット P68](#) をコピーしてお使いください。
- セミナー開講日の3週間前まで、随時お申込みを受け付けています。
- 申込み多数であり定員を満了した場合は、期限内に申込みをされた場合であっても受講をお断りすることがあります。

※定員に満たないコースについては、開講日前3週間を過ぎてもお申込みできる場合があります。詳細はお電話（028-621-0581 訓練課在職者係）でお問い合わせください。

2 受講料振込

- 電子メールでお申込みの場合、折り返し電子メールで受け取りのご連絡をさせていただきます。
- FAXでお申込みの場合、FAX受領後、折り返し電話で受け取りのご連絡をさせていただきます。
- 開講日2週間前を目途に請求書と受講票及び案内文をお送りしますので、案内文に記載する期日までに受講料をお振込みください。**（センターで入金を確認した時点で申込み手続き完了となります。）**

※受講申込書は、セミナー開講当日まで必ず保管願います。

3 セミナー受講当日

- 本館1階入口の総合案内（掲示板）で場所をご確認のうえ、直接会場にお越しください。

(注1) 受講申込みをしているコースの受講者を変更する場合は、原則として当該コース開講前日（その日が土日祝日にあたる場合は、その前の平日）までに電話（028-621-0581）にてご連絡いただき、併せて変更内容を電子メール（tochigi-poly04@jeed.go.jp）またはFAX（028-622-9498）で送信願います。当初FAXしていただいた受講申込書の写しに、変更となる内容（変更後の受講者氏名・生年月日等）を追記して送付していただいても結構です。

(注2) 受講申込みをしているコースをキャンセルして取り消す場合は、当該コース開講14日前（その日が土日祝日にあたる場合は、その前の平日）までに電話（028-621-0581）にてご連絡いただき、併せてキャンセル内容を電子メール（tochigi-poly04@jeed.go.jp）またはFAX（028-622-9498）でご連絡ください。FAXの場合、当初FAXしていただいた受講申込書の写しに、キャンセルとなる内容（キャンセルする受講者氏名等）を追記して送付していただいても結構です。開講14日前（その日が土日祝日に当たる場合は、その前の平日）より後にキャンセルの連絡をされた場合は、**期限を過ぎたキャンセルとして受講料を全額ご負担いただくこととなりますので、ご注意ください。**ただし、当センターの都合により中止または延期とした場合についてはこの限りではありません。なお、当センターの都合により中止または延期とした場合については、受講料を全額返金いたしますので、ポリテクセンター栃木ホームページ「[在職者の皆様へ](#)」「[申込方法（手続の流れ）](#)」から「[返金依頼書](#)」をダウンロードしていただき、記入及び押印のうえ、原本をご持参または郵送願います。**（電子メールおよびFAXによる返金依頼書の提出は受け付けておりません。）**

(注3) お申込み数が一定数満たない場合は、コースを中止することがあります。また、当方の都合により、やむをえず日程の変更または中止となることがあります。あらかじめご了承ください。

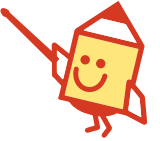
(注4) すべてのコースについて、アンケートをお願いしています。事業主の方については、セミナー実施後（2～3ヶ月後）もアンケートをお願いしておりますので、ご協力いただきますよう、お願い致します。

※お申込みに関連する事項及びその他のQ&AについてはP64の「よくある質問Q&A」をご覧ください。

貴社の社員教育のニーズにオーダーメイドセミナーで応えます

このパンフレットに掲載しているセミナー以外に、ご要望に応じて【オーダーメイドセミナー】をご提案します。

こんな時、ポリテクセンター栃木にご相談ください。



Q 日程が合わない

A 平日・土日祝OK

Q 会社の実情に合わせた研修をやりたい

A 講師と打ち合わせを行い研修内容を決定します

Q 機材がない、研修を行う場所がない

A ポリテクセンター栃木の機材・研修室をご利用できます

Q 講師がいない

A 講師は当センターの職業訓練指導員等が担当します

オーダーメイドセミナーのポイント

- 1コース当たりの訓練時間は**12時間以上**（1日6時間・2日間以上）で受け付けています。日程はご相談ください。
- 実施人数は5名以上で承りますが、少人数でも実施できます。（協力会社・系列会社の合同実施も可能です。）
- 受講料は、教材及び当センターが定める諸経費を含めてご提示します。
- 研修会場は原則当センターとなりますが、実施内容によっては出張して実施することも可能です。

※研修の内容や日程によっては実施できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

オーダーメイドセミナーのメリット

- ものづくり分野（機械系、電気・電子系、居住系）を中心に、貴社が抱える課題の解決や、業界特有の内容に応じた研修ができます。
- 受講者のレベルに合わせた研修ができます。
- 貴社のご都合に合わせて時期や時間帯を調整しますので、計画的な人材育成ができます。
- 講師や会場、機器等の心配がありません。
- ご要望の研修の他、レベルアップの研修や人材育成の相談も承ります。

いつでも、お気軽にご相談ください！

能力開発セミナー（ホームページ）のご案内

ポリテクセンター栃木（栃木職業能力開発促進センター）ホームページでは能力開発セミナー各コースの詳細についてご覧いただけます。

<https://www3.jeed.go.jp/tochigi/poly/>

ポリテクセンター栃木



検索!



Q ポリテク栃木で実施している能力開発セミナーを調べたい。

A 「訓練分類別コース一覧」または、「開催月別コース一覧」からご覧いただけます。

Q 申し込み方法が良く分からない

A 「申込方法」または、「よくある質問」でご確認ください。
※手続きの流れについての説明の他、申込用紙のダウンロードなどできます。

Q 会社の社員教育ニーズにあった研修を企画したい。[オーダーメイドセミナー(P4)]

A 「オーダーメイドセミナー」でご確認ください。または、直接電話にてご相談承ります。
TEL.028-621-0581

栃木県では、**関東職業能力開発大学校(小山市)**でも能力開発セミナーを実施しています。

<https://www3.jeed.go.jp/tochigi/college/>

関東職業能力開発大学校



検索!



2024年度全セミナーコース一覧

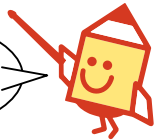
区分	コース番号	コース名	ページ
設計・開発	100	実践機械製図（形状編）	18
	101	実践機械製図（寸法編）	18
	102	2次元CADによる機械設計技術	使用機器：Auto CAD 19
	103	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術（Sコース）	使用機器：SolidWorks 20
	104	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術（Cコース）	使用機器：CATIA V5 20
	105	3次元CADを活用したアセンブリ技術	使用機器：CATIA V5 21
	106	設計に活かす3次元CADサーフェスモデリング技術	使用機器：CATIA V5 21
	107	機械設計のための総合力学	22
機械加工	119	工具研削実践技術	23
	SS	旋盤加工技術セットコース（外径加工編&内径加工編）	24
	122	旋盤加工応用技術	25
	123	NC旋盤プログラミング技術	使用機器：OSP-P300L 25
	FS	フライス盤加工技術セットコース（正面フライス編&エンドミル編）	26
	127	マシニングセンタプログラミング技術	使用機器：OSP-P300M 27
	130	被覆アーク溶接技能クリニック（板材編）	28
	131	被覆アーク溶接技能クリニック（固定管編）	28
	132	半自動アーク溶接技能クリニック（板材編）	29
	134	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック（板材編）	30
	135	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック（固定管編）	30
	136	アルミニウム合金のTIG溶接技能クリニック（板材編）	31
	137	パルスTIG溶接実践技術	New 31
	138	設計・施工管理に活かす溶接技術	32
測定評価	140	精密測定技術（長さ測定編）	33
	232	電子回路の計測技術	33
シーケンス制御	200	有接点シーケンス制御の実践技術	34
	201	シーケンス制御による電動機制御技術	34
	202	PLCプログラミング技術（ビット命令編）	使用機器：三菱Qシリーズ 35
	203	PLCプログラミング技術（SFC編）	使用機器：三菱Qシリーズ 35
	243	PLC制御の回路技術（SBC+ソフトウェアPLC編）	New 使用機器：Raspberry Pi 36



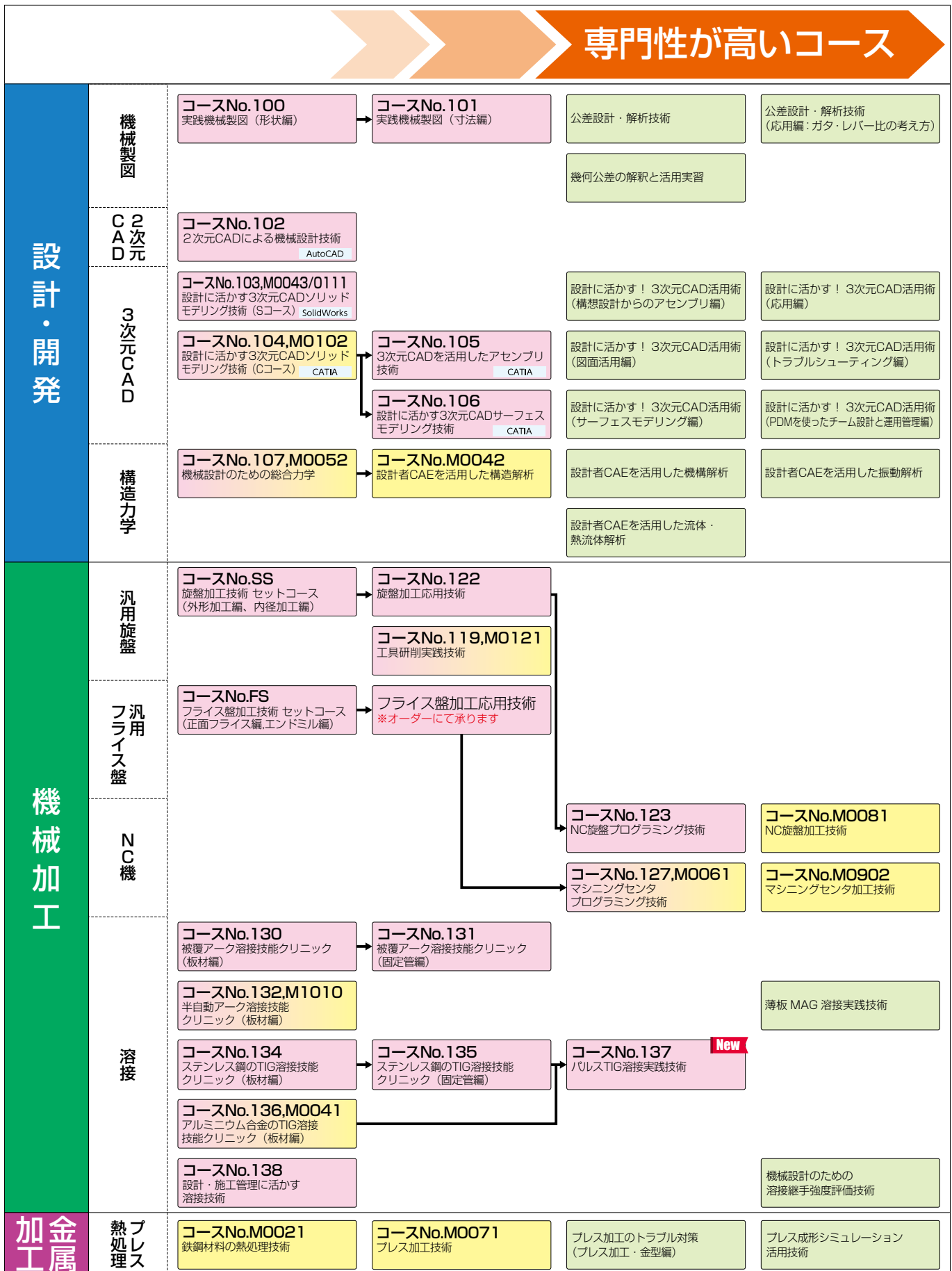
区分	コース番号	コース名		ページ
マイコン制御	223	マイコン制御システム開発技術（P I C編）	使用機器： MPLAB×IDE	37
	225	マイコン制御システム開発技術（R L 7 8編）	使用機器： CS+	37
	226	マイコンによるL A N制御システム開発実践技術（R L 7 8編）	使用機器： CS+	38
	227	組込み技術者のためのプログラミング	使用機器： HEW	39
	228	組込みシステムにおけるプログラム開発技術	使用機器： HEW	39
電子回路設計	220	トランジスタ回路の設計・評価技術（アナログ回路 トランジスタ編）		40
	221	オペアンプ回路の設計・評価技術（アナログ回路 オペアンプ編）		40
	222	デジタル回路の設計技術		41
実装技術	231	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術	使用機器： HAKKO FX-951	42
ビル設備	313	冷媒配管の施工と空調機器据付け技術		43
住宅	300	実践建築設計2次元C A D技術（Aコース）	使用機器： AutoCAD	44
	301	実践建築設計2次元C A D技術（Jコース）	使用機器： JWCAD	44
	302	実践建築設計3次元C A D技術	使用機器： 3DマイホームデザイナーPRO3	45
	303	B I Mを用いた建築設計技術（R C編）	使用機器： Revit	46
	304	B I Mを用いた建築設計技術（木造編）	使用機器： Revit	46
	305	ドローンを活用した測量実践技術		47
	306	施工図作成実践技術（建築編）		48
	307	施工図作成実践技術（土木編）		48
	308	建設業の安全衛生管理		49
保全・管理・教育	380	高圧電気設備の保守点検技術		50
	410	機械要素保全	New	50
	230	製造現場におけるL A N活用技術	使用機器： CiscoDL25W、ルータ	51
	400	なぜなぜ分析による製造現場の問題解決		52
	401	なぜなぜ分析による真の要因追求と現場改善		52
	402	ヒューマンエラー対策実践		53
	403	Q C 7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証		54
	404	生産現場改善手法（現場力向上）	New	54
	405	製造現場担当者の実践力向上（職場のリーダーを目指そう）		55
	406	製造現場における安全衛生活動の指導法		55
	407	現場の問題解決実践（5 Sの実践と定着）		56
	408	現場の安全確保（5 S）と生産性向上（5 S実践力強化）	New	56
その他	240	オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術（P y t h o n編）		57
	241	W e bを活用した生産支援システム構築技術（P y t h o n編）		58
	242	W e bを活用した生産支援システム構築技術（S p r i n g編）	New	58

セミナー体系図「推奨フロー」

→は推奨する受講の順番です!
※必ずしもこの流れで受講しなくても差し支えありません。

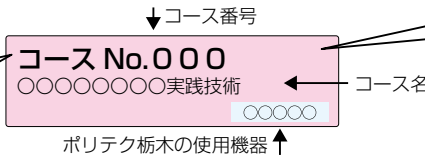


専門性が高いコース



フローの見方

お問い合わせさせる際は、
コース番号、コース名等をお伝えください。



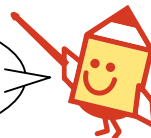
フローの色はセミナーの実施場所を示します
 ■ : ポリテクセンター栃木 (宇都宮市)
 ■ : 関東職業能力開発大学校 (小山市)
 ■ : ポリテクセンター栃木と
 関東職業能力開発大学校の両方で実施
 ■ : 高度ポリテクセンター (千葉県千葉市)

専門性が高いコース

評価	測定	コースNo.140,M0053 精密測定技術(長さ測定編)	コースNo.M0122 精密形状測定技術	表面粗さと形状偏差の精密測定技術(表面粗さと真円度測定)	計測における信頼性(不確かさ)の評価技術	
		コースNo.232,E0088 New 電子回路の計測技術		三次元測定機を用いた幾何偏差の測定技術	設計・品質評価に活かす硬さ試験	
シーケンス制御	有接点	コースNo.200,E0052/0094/0013 有接点シーケンス制御の実践技術	コースNo.201,E0063/111 シーケンス制御による電動機制御技術	コースNo.E0034 電動機のインバータ活用技術		
	PLC		コースNo.E0071/0031 有接点シーケンス制御の機器選定	コースNo.202 PLCプログラミング技術(ヒット命令編) <small>三菱Qシリーズ</small>	コースNo.203 PLCプログラミング技術(SFC編) <small>三菱Qシリーズ</small>	
			コースNo.243 New PLC制御の回路技術(SBC+ソフトウェアPLC編) <small>Raspberry Pi</small> *SBC:シングルボードコンピュータ	コースNo.E0082 PLCによる電動機制御実務	コースNo.E0093 実践的PLC制御技術(FA制御編)	
				コースNo.E0081 PLCによるタッチパネル活用技術	コースNo.E0086/0121 PLCによる位置決め制御技術	
				コースNo.E0101 PLCプログラミング技術(ST言語編) <small>三菱Qシリーズ</small>		
			コースNo.E0063 PLC制御の回路技術 <small>三菱FXシリーズ</small>	コースNo.E0072 PLC制御の応用技術 <small>三菱FXシリーズ</small>	コースNo.E0062 PLCによる位置決め制御技術 <small>三菱FXシリーズ</small>	
		マイコン制御		コースNo.228 組み込みシステムにおけるプログラム開発技術 <small>HEW</small>	コースNo.226 マイコンによるLAN制御システム開発実践技術(RL78編) <small>CS+</small>	機械学習を活用した時系列データの分析技術
				コースNo.223,T0083/0021 マイコン制御システム開発技術(PIC編) <small>MPLAB X IDE</small>	コースNo.225 マイコン制御システム開発技術(RL78編) <small>CS+</small>	シングルボードコンピュータによる計測データ処理技術
			コースNo.T0032 マイコン制御システム開発技術(RX編)	コースNo.T0087 マイコン制御システム開発技術(ARM編)	シングルボードコンピュータによるIoTシステム構築技術	
	組み込み		コースNo.T0073/0011 マイコン制御システム開発技術(Arduino編)	コースNo.T0062 組み込みシステム開発におけるプログラム実践(ポインターマスター編)	マイコン制御システム開発技術	
		コースNo.227 組み込み技術者のためのプログラミング <small>HEW</small>	コースNo.T0013 マイコン制御システム開発技術(マルチスレッド編) <small>Raspberry Pi</small>	マイコンによる計測データ処理技術		
設計	アナログ	コースNo.220 トランジスタ回路の設計・評価技術(アナログ回路編)	コースNo.221 オペアンプ回路の設計・評価技術(アナログ回路編)	作って学ぶアナログ回路設計・評価技術	実用オペアンプ応用回路の設計法	
	デジタル	コースNo.222 デジタル回路の設計技術	コースNo.T0061/0032 HDLによる回路設計技術(Verilog HDL編)	アナログ・デジタル混在回路におけるノイズ対策技術S	電子機器の計測・評価技術	
	基板設計	コースNo.T0054/0103 回路シミュレータで広がる電子回路設計技術	コースNo.E0012 プリント基板設計技術 <small>Fusion360/EAGLE</small>	コースNo.T0084/0037 プリント基板設計技術 <small>KiCad</small>	プリント基板設計・製造における不具合リスクと回避ノウハウ	
技術実装	はんだ	コースNo.231,E0072/0033 基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術 <small>HAKKO FX-951</small>				

セミナー体系図「推奨フロー」

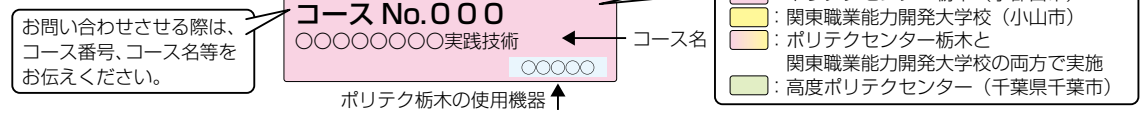
→は推奨する受講の順番です！
※必ずしもこの流れで受講しなくても差し支えありません。



専門性が高いコース

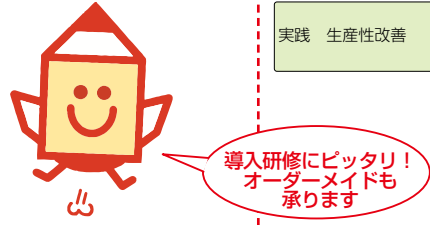
計測制御	パソコン	コースNo.T0034 クラウド活用によるIoT構築技術	コースNo.T0085 シングルボードコンピュータによるAI活用技術		
	画像処理	コースNo.T0086/0038 実習で学ぶ画像処理・認識技術 (OpenCV編)	コースNo.T0111 機械学習による欠陥検査・物体認識の高度化技術	マシンビジョン画像処理システムのための新しいライティング技術	
自動制御	メカトロニクス	直動システムにおけるメカトロ機械設計技術	電動アクチュエータの実践的活用技術		メカ要素設計 (カム・リンク編)
	産業用ロボット	コースNo.T0038 産業用ロボット活用技術	コースNo.T0039 視覚センサによる産業用ロボット制御技術		
パワーエレクトロニクス	回路	実習で学ぶパワーエレクトロニクス回路	パワーエレクトロニクスのための熟設計技術	パワーエレクトロニクスの測定ノウハウ	電源回路における電子部品の特性と選定ノウハウ
	電気制御			PFC (力率改善回路) の設計・評価技術	シミュレーションを活用したDC-DCコンバータの負帰還設計技術
ビル設備	保守	実習でわかる省エネルギーの進め方と対策技術	実習でわかる省エネ診断と工場における省エネルギー技術	雷被害から学ぶ雷サージ対策技術	生産設備における機械周りのノイズ対策
	空調	コースNo.313 冷媒配管の施工と空調機器据え付け技術			
制御システム設計	メカトロニクス設計	治具設計の勤どころ	自動化用センサと自動化設計のポイント	ロボットシステム設計技術 (ロボットシステム導入編)	ロボットシステム設計技術 (シミュレーション活用編)
	画像処理	実習で学ぶ画像処理・認識技術	画像処理・認識アルゴリズムの知識とプログラム開発技術	シミュレーションによる画像・映像処理技術	進化的画像処理による画像処理の最適化技術
	信号処理	マイコンを活用したリアルタイム音響・音声信号処理技術	組込みセキュリティ技術 (暗号・誤り訂正) と活用技術	シミュレーションで学ぶデジタル信号処理	無線技術者のためのデジタル信号処理
住宅	建築設計 / 建築製図	コースNo.300 実践建築設計2次元CAD技術 (Aコース) <small>AutoCAD</small>	コースNo.301,H0045 実践建築設計2次元CAD技術 (Jコース) <small>JW-CAD</small>	<p>当センターでは「BIMを用いた建築設計技術」として、以下の例の内容に合わせオーダーセミナーを実施できます。お気軽にお問い合わせください。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;"> <p>モデリング編</p> <p>↓</p> <p>実践編</p> <p>↓</p> <p>応用編</p> </div> <div style="flex: 2;"> <ul style="list-style-type: none"> RC編 木造編 鉄骨編 電気設備編 配管編 土木編 ファミリー作成編 </div> </div> <p>2022年末、国土交通省は2025年にBIM確認申請を試行すると明確な目標を宣言しました。ぜひ、BIMのセミナーをご受講ください！</p>	
		コースNo.302 実践建築設計3次元CAD技術 <small>3Dマイホームデザイナー PRO09</small>			
		コースNo.303 BIMを用いた建築設計技術 (RC編) <small>Rebit</small>	コースNo.304 BIMを用いた建築設計技術 (木造編) <small>Rebit</small>		
		コースNo.H0081 BIMを用いた建築設計技術 <small>Archicad</small>	コースNo.H0091 BIMを用いた建築生産設計技術 (施工図活用編) <small>Archicad</small>		
		コースNo.H0061 木造住宅における許容応力度設計技術			
	構造設計	省エネルギー住宅及び低炭素建築の計画実践技術 ※オーダーにて承ります	通常のコースは建築業経理検定試験 (2級)、応用編は建築業経理検定試験 (1級) に準じた内容となります。		
	建築法規	建築物の積算・見積り実践技術 ※オーダーにて承ります	建築物の積算・見積り実践技術 (応用編) ※オーダーにて承ります		
	建築企画 / デザイン				
	測量	コースNo.305 ドローンを活用した測量実践技術	コースNo.H0101 地理情報システムの運用技術	コースNo.H0044 現場管理者のための測量実践技術	

フローの見方



専門性が高いコース

住宅 (続き)	基礎工事	コンクリート型枠施工の実践技術 ※オーダーにて承ります	鉄筋の加工・組立実践技術 ※オーダーにて承ります		
	施工工事 / 施工管理	コースNo.306 施工図作成実践技術 (建築編)	建築施工管理方針策定実践技術 ※オーダーにて承ります		
		コースNo.307 施工図作成実践技術 (土木編)			
コースNo.308,H0043 建設業の安全衛生管理		コースNo.H0041 建築施工管理の現場実践 (安全管理・工程管理編)	コースNo.H0042 建築施工管理の現場実践 (原価管理・品質管理編)		
コースNo.H0062 RC造のタイル割付図作成実践		コースNo.H0071 実践的な施工図作成技術			
コースNo.0072 施工図作成実践技術 (鉄骨工事編)					
ゼンレ	コースNo.H0111 ARを活用した 建築プレゼンテーション技法				
保全・管理・教育	保全	コースNo.380 高圧電気設備の保守点検技術	コースNo.410 機械要素保全	空気圧システムの保全技術	油圧システムの保全技術
	LAN	コースNo.230,T0072/0012 製造現場におけるLAN活用技術 (LAN設定編)	コースNo. T0022 製造現場におけるLAN活用技術 (外部接続編)	光ファイバ通信の理論と実際	無線LANネットワークの解析手法
		コースNo.400 なぜなぜ分析による製造現場の問題解決	コースNo.401 なぜなぜ分析による真の要因追求と現場改善	コースNo.402 ヒューマンエラー対策実践	パラメータ設計 (品質工学) の活用技術
	管理・教育	コースNo.403 QC7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証	コースNo.404,S0091/0031 生産現場改善手法 (現場力向上)		実践 生産性改善
		コースNo.405 製造現場担当者の実践力向上 (職場のリーダーを目指そう)	コースNo.406 製造現場における安全衛生活動の指導法		
		コースNo.407 現場の問題解決実践 (5Sの実践と定着)	コースNo.408,S0073/0012 現場の安全確保 (5S) と生産性向上 (5S実践力強化)		
		コースNo.S0112 標準時間の設定と活用	コースNo.S0071 生産現場のための実践作業標準		
		コースNo.S0074/0011 仕事と人を動かす現場監督者の育成 (リーダーシップ力の強化)	コースNo.S0062/0121 技能伝承のための部下・後輩指導育成		技能伝承と生産性向上のためのOJT指導者育成
		コースNo.S0051/0111 製造現場の小集団活動実践 (効率的、効果的なQCサークル活動)	コースNo.S0092 新QC7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証		
	コースNo.S0122 生産プロセス改善のための統計解析	コースNo.S0104 オペレーションズ・リサーチによる業務計画と意思決定 (渋滞学活用編)		商品開発のためのビッグデータ活用の視点と解析技術	
	コースNo.S0052/0101/0021 ヒューマンエラー対策実践 (ポカミスのない環境づくり)	コースNo.S0072/0033 製造業における実践的生産管理			
	その他	開発システム	コースNo.240 オブジェクト指向による組み込みプログラム開発技術 (Python編) Raspberry Pi		シングルボードコンピュータ活用によるIoTシステム構築技術
生産自動化		コースNo.241 Webを活用した生産支援システム構築技術 (Python編)		モーションコントロール機器の制御技術	自動機械設計のための要素選定技術
		コースNo.242 Webを活用した生産支援システム構築技術 (Spring編)		自動化用センサと自動化設計のポイント	ロボットシステム設計技術



2024年度【年間】セミナーコース一覧

区分	コース番号	コース名	年間実施回数	訓練時間	日数	受講料(税込)	ページ	
設計・開発	100	実践機械製図（形状編）	2	18	3	¥14,000	18	
	101	実践機械製図（寸法編）	2	18	3	¥10,500	18	
	102	2次元C A Dによる機械設計技術	使用機器：AutoCAD	2	18	3	¥12,500	19
	103	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術（Sコース）	使用機器：SolidWorks	3	18	3	¥15,000	20
	104	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術（Cコース）	使用機器：CATIA V5	1	18	3	¥20,000	20
	105	3次元C A Dを活用したアセンブリ技術	使用機器：CATIA V5	1	12	2	¥12,000	21
	106	設計に活かす3次元C A Dサーフェスモデリング技術	使用機器：CATIA V5	1	18	3	¥16,000	21
	107	機械設計のための総合力学	2	24	4	¥14,000	22	
機械加工	119	工具研削実践技術	1	12	2	¥17,500	23	
	SS	旋盤加工技術セットコース（外径加工編） （内径加工編）	2	24	4	¥23,500	24	
	122	旋盤加工応用技術	1	24	4	¥23,500	25	
	123	N C 旋盤プログラミング技術	使用機器：OSP-P300L	1	24	4	¥16,000	25
	FS	フライス盤加工技術セットコース（正面フライス編） （エンドミル編）	2	24	4	¥30,000	26	
	127	マシニングセンタプログラミング技術	使用機器：OSP-P300M	1	24	4	¥14,500	27
	130	被覆アーク溶接技能クリニック（板材編）	2	12	2	¥13,000	28	
	131	被覆アーク溶接技能クリニック（固定管編）	1	12	2	¥25,500	28	
	132	半自動アーク溶接技能クリニック（板材編）	2	12	2	¥14,000	29	
	134	ステンレス鋼のT I G溶接技能クリニック（板材編）	3	12	2	¥15,000	30	
	135	ステンレス鋼のT I G溶接技能クリニック（固定管編）	1	12	2	¥25,500	30	
136	アルミニウム合金のT I G溶接技能クリニック（板材編）	1	12	2	¥15,000	31		
137	パルスT I G溶接実践技術 New	1	12	2	¥15,000	31		
138	設計・施工管理に活かす溶接技術	1	12	2	¥13,000	32		
測定評価	140	精密測定技術（長さ測定編）	2	12	2	¥7,500	33	
	232	電子回路の計測技術 New	1	12	2	¥9,000	33	



2024年4月~2025年3月

2024年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月
			7/3(水)~ 7/5(金)				11/12(火)~ 11/14(木)				
			7/16(火)~ 7/18(木)				11/27(水)~ 11/29(金)				
4/22(月)~ 4/24(水)				8/26(月)~ 8/28(水)							
		6/10(月)~ 6/12(水)				10/16(水)~ 10/18(金)			1/27(月)~ 1/29(水)		
			7/22(月)~ 7/24(水)								
					9/19(木)~ 9/20(金)						
						10/2(水)~ 10/4(金)					
		6/3(月)~ 6/6(木)							1/21(火)~ 1/24(金)		
										2/20(木)~ 2/21(金)	
						10/22(火)~ 10/25(金)			1/7(火)~ 1/10(金)		
									1/21(火)~ 1/24(金)		
								12/9(月)~ 12/12(木)			
		6/10(月)~ 6/13(木)					11/5(火)~ 11/8(金)				
			7/2(火)~ 7/5(金)								
		6/12(水)~ 6/13(木)				9/11(水)~ 9/12(木)					
							11/6(水)~ 11/7(木)				
	5/8(水)~ 5/9(木)					9/25(水)~ 9/26(木)					
4/24(水)~ 4/25(木)			7/3(水)~ 7/4(木)			10/9(水)~ 10/10(木)					
	5/22(水)~ 5/23(木)										
									1/16(木)~ 1/17(金)		
								12/4(水)~ 12/5(木)			
				8/7(水)~ 8/8(木)							
						9/12(木)~ 9/13(金)				2/6(木)~ 2/7(金)	
	5/23(木)~ 5/24(金)										

2024年度【年間】セミナーコース一覧

区分	コース番号	コース名	年間実施回数	訓練時間	日数	受講料(税込)	ページ	
シーケンス制御	200	有接点シーケンス制御の実践技術	4	18	3	¥12,500	34	
	201	シーケンス制御による電動機制御技術	2	18	3	¥20,000	34	
	202	PLCプログラミング技術(ビット命令編)	使用機器: 三菱Qシリーズ	2	18	3	¥12,000	35
	203	PLCプログラミング技術(SFC編)	使用機器: 三菱Qシリーズ	1	12	2	¥9,000	35
	243	PLC制御の回路技術 (SBC+ソフトウェアPLC編) New	使用機器: Raspberry Pi	1	12	2	¥10,000	36
マイコン制御	223	マイコン制御システム開発技術(PIC編)	使用機器: MPLAB X IDE	1	18	3	¥12,000	37
	225	マイコン制御システム開発技術(RL78編)	使用機器: CS+	1	13	2	¥9,500	37
	226	マイコンによるLAN制御システム開発実践技術 (RL78編)	使用機器: CS+	1	18	3	¥12,500	38
	227	組込み技術者のためのプログラミング	使用機器: HEW	2	12	2	¥8,000	39
	228	組込みシステムにおけるプログラム開発技術	使用機器: HEW	1	12	2	¥8,000	39
電子回路設計	220	トランジスタ回路の設計・評価技術 (アナログ回路 トランジスタ編)		1	12	2	¥11,000	40
	221	オペアンプ回路の設計・評価技術 (アナログ回路 オペアンプ編)		1	12	2	¥11,000	40
	222	デジタル回路設計技術		1	18	3	¥12,000	41
実装技術	231	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術	使用機器: HAKKO FX-951	3	12	2	¥13,500	42
ビル設備	313	冷媒配管の施工と空調機器据付け技術		2	12	2	¥14,000	43
住宅	300	実践建築設計2次元CAD技術(Aコース)	使用機器: AutoCAD	2	12	2	¥9,000	44
	301	実践建築設計2次元CAD技術(Jコース)	使用機器: JWCAD	2	12	2	¥9,000	44
	302	実践建築設計3次元CAD技術	使用機器: 3Dマイホームデザイナー PRO09	2	12	2	¥9,000	45
	303	BIMを用いた建築設計技術(RC編)	使用機器: Revit	2	12	2	¥9,000	46
	304	BIMを用いた建築設計技術(木造編)	使用機器: Revit	2	12	2	¥9,000	46
	305	ドローンを活用した測量実践技術		2	12	2	¥14,500	47
	306	施工図作成実践技術(建築編)		1	12	2	¥9,000	48
	307	施工図作成実践技術(土木編)		1	12	2	¥9,000	48
308	建設業の安全衛生管理		1	12	2	¥9,000	49	



2024年4月~2025年3月

2024年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月
	5/22(水)~ 5/24(金)		7/3(水)~ 7/5(金)				11/18(月)~ 11/20(水)		1/15(水)~ 1/17(金)		
				8/7(水)~ 8/9(金)						2/5(水)~ 2/7(金)	
		6/12(水)~ 6/14(金)						12/11(水)~ 12/13(金)			
									1/8(水)~ 1/9(木)		
									1/28(火)~ 1/29(水)		
					9/11(水)~ 9/13(金)						
					9/26(木)~ 9/27(金)						
						10/2(水)~ 10/4(金)					
				8/27(火)~ 8/28(水)						2/20(木)~ 2/21(金)	
				8/29(木)~ 8/30(金)							
			7/4(木)~ 7/5(金)								
			7/18(木)~ 7/19(金)								
			7/10(水)~ 7/12(金)								
4/25(木)~ 4/26(金)				8/21(水)~ 8/22(木)					1/30(木)~ 1/31(金)		
			7/8(月)~ 7/9(火)						1/16(木)~ 1/17(金)		
	5/13(月)~ 5/14(火)						11/11(月)~ 11/12(火)				
	5/20(月)~ 5/21(火)						11/18(月)~ 11/19(火)				
	5/27(月)~ 5/28(火)						11/25(月)~ 11/26(火)				
		6/6(木)~ 6/7(金)			9/5(木)~ 9/6(金)						
		6/13(木)~ 6/14(金)			9/12(木)~ 9/13(金)						
			7/29(月)~ 7/30(火)				11/7(木)~ 11/8(金)				
					9/19(木)~ 9/20(金)						
					9/24(火)~ 9/25(水)						
4/17(水)~ 4/18(木)											

2024年度【年間】セミナーコース一覧

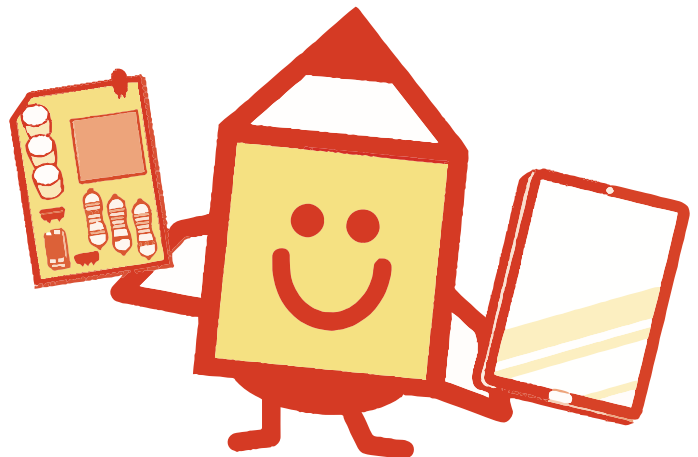
区分	コース番号	コース名	年間実施回数	訓練時間	日数	受講料(税込)	ページ		
保全・管理・教育	380	高圧電気設備の保守点検技術	1	18	3	¥14,500	50		
	410	機械要素保全 New	2	14	2	¥16,500	50		
	230	製造現場におけるLAN活用技術	使用機器： CiscoのL2SW、 ルータ		1	12	2	¥14,500	51
	400	なぜなぜ分析による製造現場の問題解決	1	12	2	¥9,000	52		
	401	なぜなぜ分析による真の要因追求と現場改善	1	12	2	¥9,000	52		
	402	ヒューマンエラー対策実践	1	12	2	¥9,000	53		
	403	QC7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証	1	12	2	¥9,000	54		
	404	生産現場改善手法（現場力向上） New	1	12	2	¥9,000	54		
	405	製造現場担当者の実践力向上（職場のリーダーを目指そう）	1	12	2	¥8,500	55		
	406	製造現場における安全衛生活動の指導法	1	12	2	¥9,000	55		
	407	現場の問題解決実践（5Sの実践と定着）	1	12	2	¥8,500	56		
	408	現場の安全確保（5S）と生産性向上（5S実践力強化） New	1	12	2	¥9,000	56		
その他	240	オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術（Python編）	3	12	2	¥13,500	57		
	241	Webを活用した生産支援システム構築技術（Python編）	2	18	3	¥15,500	58		
	242	Webを活用した生産支援システム構築技術 New （Spring編）	1	12	2	¥11,500	58		





2024年4月~2025年3月

2024年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月	2月	3月
					9/18(水)~ 9/20(金)						
		6/26(水)~ 6/27(木)				10/16(水)~ 10/17(木)					
								12/12(木)~ 12/13(金)			
					9/5(木)~ 9/6(金)						
								12/19(木)~ 12/20(金)			
			7/25(木)~ 7/26(金)								
		6/6(木)~ 6/7(金)									
										2/6(木)~ 2/7(金)	
							11/14(木)~ 11/15(金)				
				8/29(木)~ 8/30(金)							
	5/16(木)~ 5/17(金)										
									1/9(木)~ 1/10(金)		
			7/24(水)~ 7/25(木)				11/13(水)~ 11/14(木)				3/18(火)~ 3/19(水)
			7/29(月)~ 7/31(水)								3/25(火)~ 3/27(木)
						10/8(火)~ 10/9(水)					



設計・開発 ◆機械製図◆

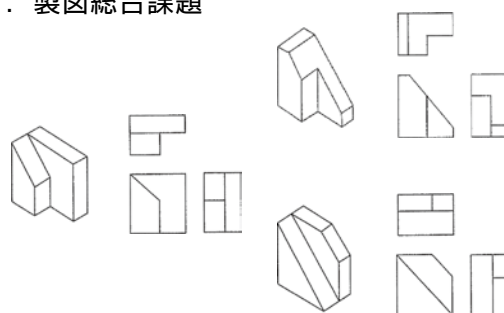
100 実践機械製図(形状編)



機械製図(投影法や図形配置)について学ぼう!
機械設計関連の業務に携わっている方または候補の方が受講に適しています。

※本コースは手描き製図です。

1. コース概要及び留意事項
2. 製図一般
3. 機械製図上の留意事項
(投影図の選択法、製造現場を意識した図形の配置方法)
4. 実践的設計図面の描き方
5. 製図総合課題



※外部講師担当予定

実施日 100-1 7/3(水)~7/5(金)
100-2 11/12(火)~11/14(木)

定員 12名 受講料(税込) 14,000円

日数 3日間 時間数 18時間

持参品 筆記用具

使用機器 簡易製図機

前提スキル コースNo.101「実践機械製図(寸法編)」とのセット受講をお勧めしております。

設計・開発 ◆機械製図◆

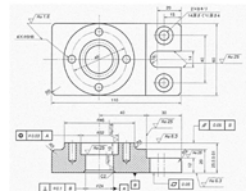
101 実践機械製図(寸法編)



機械製図(寸法記入や幾何公差、表面性状など)について学ぼう!
機械設計関連の業務に携わっている方または候補の方が受講に適しています。

※本コースは手描き製図です。

1. コース概要及び留意事項
2. 製図一般
3. 機械製図上の留意事項
(寸法記入の留意点、寸法公差の考え方、幾何公差の定義とその解釈、表面性状の要求事項の指示方法など)
4. 実践的設計図面の描き方
5. 製図総合課題



※教科書を持っていない方は貸し出しますが、当センターでは教科書の販売はできません。寸法編から受講の方で教科書が必要な方は事前にご準備をお願いします。
使用教科書(森北出版「初心者のための機械製図」)
ISBN978-4-627-66434-0 出版社の方で改定などが入りましたら形状編からの教科書と差異が出てしまう可能性がありますのでご注意ください。

※外部講師担当予定

実施日 101-1 7/16(火)~7/18(木)
101-2 11/27(水)~11/29(金)

定員 12名 受講料(税込) 10,500円

日数 3日間 時間数 18時間

持参品 筆記用具、実践機械製図(形状編)で使用した教科書(受講された方のみ)

使用機器 簡易製図機

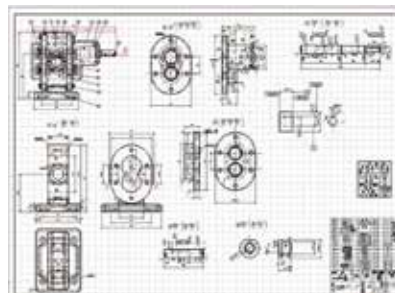
前提スキル コースNo.100「実践機械製図(形状編)」とのセット受講をお勧めしております。

102 2次元CADによる機械設計技術



2次元CAD(AutoCAD)について学ぼう!
機械設計関連の業務に携わっている方または候補の方が受講に適しています。

1. 設計製図における作業効率を向上させるために事前に準備しておくべき事(テンプレート、ブロックなど)
2. 基本構想段階でのCADの使い方(作図機能 編集機能など)
3. 詳細設計段階でのCADの使い方(応用作図機能)
4. 製図段階でのCADの使い方(寸法記入と公差の考え方、線種の使い分けと出力設定など)



※外部講師担当予定

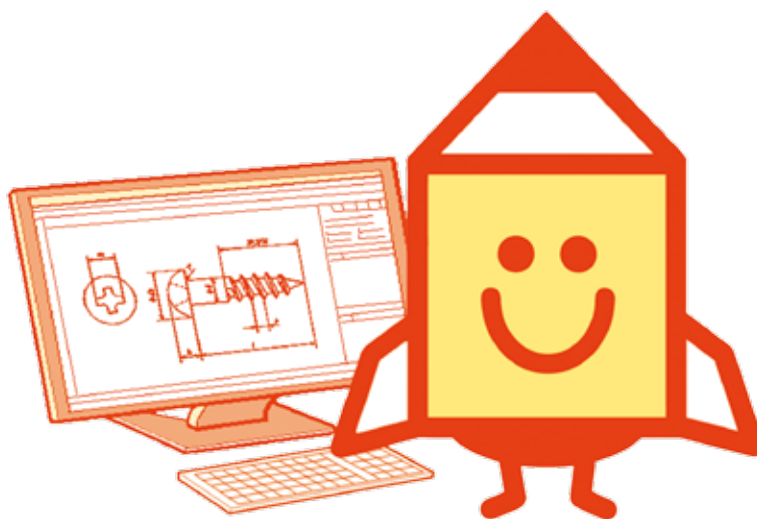
実施日	102-1	4/22(月)~4/24(水)
	102-2	8/26(月)~8/28(水)

定員	12名	受講料 (税込)	12,500円
	3日間	時間数	18時間

持参品	筆記用具		
-----	------	--	--

使用機器	2次元CADシステム(AutoCAD)		
------	---------------------	--	--

前提スキル



設計・開発 ◆3次元CAD◆

使用機器：SolidWorks

103 設計に活かす3次元CAD ソリッドモデリング技術(Sコース)



3次元CAD(SolidWorks)について学ぼう!
機械設計関連の業務に携わっている方または候補の方が受講に適しています。

1. コース概要及び留意事項
2. 設計とは
3. モデリング時のポイント
4. 開発・設計のモデリング手法
5. 設計検証
6. 総合演習
7. まとめ

実施日
103-1 6/10(月)~6/12(水)
103-2 10/16(水)~10/18(金)
103-3 '25/1/27(月)~1/29(水)

定員	10名	受講料 (税込)	15,000円
----	-----	-------------	---------

日数	3日間	時間数	18時間
----	-----	-----	------

持参品 筆記用具

使用機器 3次元CADシステム(SolidWorks)

前提スキル



※外部講師担当予定

設計・開発 ◆3次元CAD◆

使用機器：CATIA V5

104 設計に活かす3次元CAD ソリッドモデリング技術(Cコース)



3次元CAD(CATIA V5)を使用した、ソリッドモデリングコース。機械設計関連の業務に携わっている方または候補の方が受講に適しています。

1. コース概要及び留意事項
2. 設計とは
3. モデリング時のポイント
4. 開発・設計のモデリング手法
5. 設計検証
6. 総合演習
7. まとめ

実施日 104-1 7/22(月)~7/24(水)

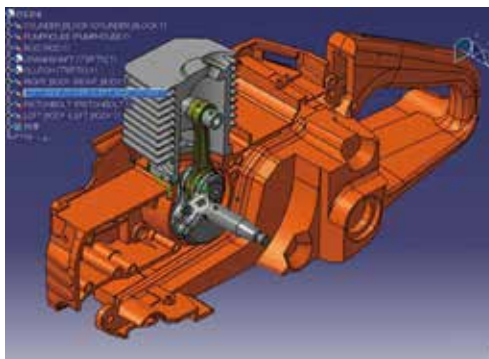
定員	10名	受講料 (税込)	20,000円
----	-----	-------------	---------

日数	3日間	時間数	18時間
----	-----	-----	------

持参品 筆記用具

使用機器 3次元CADシステム(CATIA V5)

前提スキル



※外部講師担当予定

105 3次元CADを活用したアセンブリ技術



3次元CAD(CATIA V5)を使用した、アセンブリ技術を学ぶためのコース。機械設計関連の業務に携わっている方または候補の方が受講に適しています。

1. コース概要及び留意事項
2. 設計とは
3. アセンブリ3ヶ条
4. 検証ツールとアセンブリ3ヶ条
5. 検証作業
6. まとめ

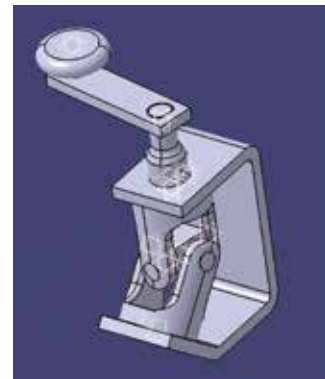
実施日 105-1 9/19(木)~9/20(金)

定員	10名	受講料 (税込)	12,000円
----	-----	-------------	---------

日数	2日間	時間数	12時間
----	-----	-----	------

持参品 筆記用具

使用機器 3次元CADシステム(CATIA V5)



※外部講師担当予定

前提スキル コースNo.104「設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術(Cコース)」を受講しているか、またはこれと同等の知識を有することが前提となります。

106 設計に活かす3次元CADサーフェスモデリング技術



3次元CAD(CATIA V5)を使用した、サーフェスモデリング技術を学ぶためのコース。機械設計関連の業務に携わっている方または候補の方が受講に適しています。

1. 概要
2. 形状モデリング
3. 自由曲面の連続性と評価
4. モデル構築方法によるトラブルと回避
5. まとめ

実施日 106-1 10/2(水)~10/4(金)

定員	10名	受講料 (税込)	16,000円
----	-----	-------------	---------

日数	3日間	時間数	18時間
----	-----	-----	------

持参品 筆記用具

使用機器 3次元CADシステム(CATIA V5)



※外部講師担当予定

前提スキル コースNo.104「設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術(Cコース)」を受講しているか、またはこれと同等の知識を有することが前提となります。

107 機械設計のための総合力学



工業力学、材料力学などを学ぶためのコース。
機械設計関連の業務に携わっている方または
候補の方が受講に適しています。

1. コース概要
2. 強度設計の重要性
3. 機械の力学
 - (1) 仕事と動力
 - (2) ニュートンの運動の法則
 - (3) 摩擦と機械の効率
4. 材料の静的強度設計
 - (1) 材料の機械的特性（応力とひずみ）
 - (2) 応力とモーメント
 - (3) 安全率と許容応力
5. 機械要素設計
6. 課題及びまとめ

実施日 107-1 6/3(月)~6/6(木)
107-2 '25/1/21(火)~1/24(金)

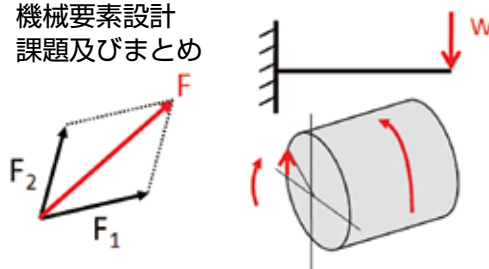
定員	12名	受講料 (税込)	14,000円
----	-----	-------------	---------

日数	4日間	時間数	24時間
----	-----	-----	------

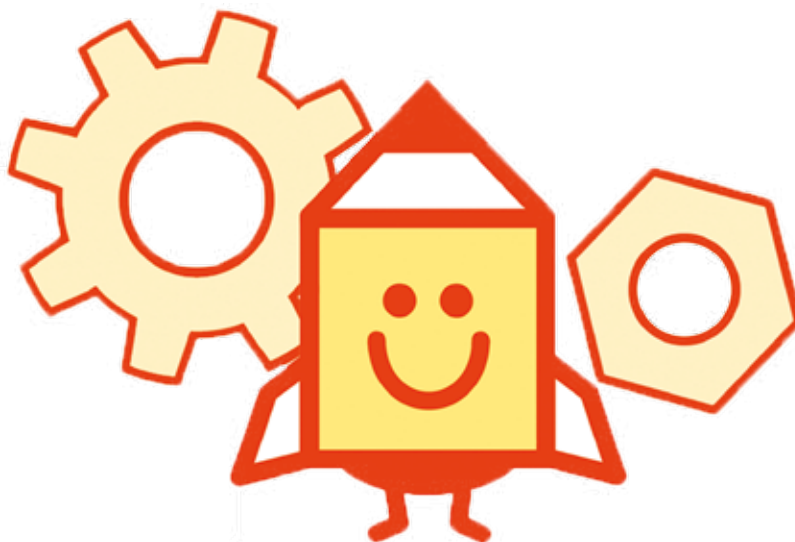
持参品 筆記用具、関数電卓

使用機器

前提スキル



※外部講師担当予定



119 工具研削実践技術



研削砥石の種類と用途及びろう付けバイトの研削作業を実習を通して習得します。

1. コース概要及び留意事項
2. 工具活用技術
 - (1) 工具形状の名称とその特性
 - (2) 工具材質の特性と適正条件
3. 工具研削実習および加工評価
 - (1) バイト研削実習
 - (2) 切削加工におけるバイト検査
4. まとめ



実施日 119-1 '25/2/20(木)~2/21(金)

定員	8名	受講料 (税込)	17,500円
----	----	-------------	---------

日数	2日間	時間数	12時間
----	-----	-----	------

持参品 筆記用具、作業服(上・下)、作業帽、安全靴
保護メガネ

使用機器 汎用旋盤、両頭グラインダ、各種工具、各種測定器

前提スキル コースNo.SS「旋盤加工技術セットコース」を受講した方が、旋盤加工の経験がある方であることが前提となります。

ポリテクセンター栃木



ハロートレーニング
— 急がば学べ —

ポリテクセンター栃木（栃木職業能力開発促進センター）ホームページでも能力開発セミナー各コースについてご覧いただけます。
<https://www3.jeed.go.jp/tochigi/poly/>

機械加工 ◆汎用旋盤◆

SS 旋盤加工技術セットコース(外径加工編) & (内径加工編)

Check!



旋盤加工(外径加工、内径加工)について学びます!
機械加工に携わっている方や携わる予定のある方、興味のある方を対象としています。

実施日	SS-1	10/22(火)~10/25(金)	(No.120-1、No.121-1 各2日間)
	SS-2	'25/1/7(火)~1/10(金)	(No.120-2、No.121-2 各2日間)

コース番号は「SS-O」と書いてください。

定員	7名	受講料 (税込)	23,500円 (2つのコース合計の金額です)
日数	4日間	時間数	24時間

持参品 筆記用具、作業服(上・下)、作業帽、安全靴、保護メガネ

使用機器 汎用旋盤(TAKISAWA製、TAL-460)

前提スキル ノギス、マイクロメータ(アナログ)が取り扱えることが望ましい。アナログタイプが取り扱えない方は、デジタル測定器をお貸しします。

【前半(外径加工編)】

普通旋盤の安全作業、加工条件の選定、各種加工方法(外径加工、溝加工)について、実習を通して習得します。

1. 概要
2. 旋盤加工について
 - (1) 旋盤の操作・取扱い
 - (2) 切削条件の設定(外径加工、溝加工での条件選定)
 - (3) 工具(刃物)の取り付け(加工時の注意点や、安全作業)
3. 旋盤加工実習



課題例



課題例

【後半(内径加工編)】

普通旋盤の安全作業、加工条件の選定、各種加工方法(内径加工)について、実習を通して習得します。

前半コースの外径加工部品との組合せ部品を製作していきます。

1. 概要
2. 旋盤加工について
 - (1) 旋盤の操作・取扱い
 - (2) 切削条件の設定(内径加工での条件設定)
 - (3) 工具(刃物)の取り付け(内径工具での注意点や、安全作業)
3. 旋盤加工実習

※後半コースでは前半コースでの加工品に組み合わせる製品を削ります。そのため、1コースでの受講はできません。

※訓練の進行具合により多少時間を延長することがございます。



課題例

機械加工 ◆汎用旋盤◆

122 旋盤加工応用技術



旋盤加工(ねじ加工、テーパ加工)について学ぼう!
旋盤加工やNC旋盤加工に携わっている方を対象としています。

1. コース概要及び留意事項
2. 各種加工法について
 - (1) ねじ加工
 - イ. ねじの概要
 - ロ. ねじ切りの加工法
 - ハ. ねじ精度の確認
 - (2) テーパ加工
 - イ. 複式刃物台の傾けによる方法
 - ロ. テーパの加工、当たりの見方
3. 旋盤加工実習

実施日 122-1 '25/1/21(火)~1/24(金)

定員 7名 受講料(税込) 23,500円

日数 4日間 時間数 24時間

持参品 筆記用具、作業服(上・下)、作業帽、安全靴、保護メガネ

使用機器 汎用旋盤(TAKISAWA製、TAL-460)

前提スキル コースNo.SS「旋盤加工技術セットコース」を受講した方が、旋盤加工の経験がある方。



課題例

機械加工 ◆NC機◆

123 NC旋盤プログラミング技術



NC旋盤のプログラムについて学ぼう!
機械加工に携わっている方や携わる予定のある方、興味のある方を対象としています。

※本コースはオークマ製NC旋盤専用のプログラミングです

1. コース概要及び留意事項
2. 各種機能とプログラム作成方法
 - (1) 主軸・送り・工具・準備・補助機能
 - (2) 荒加工用プログラム作成方法及び注意点
 - (3) 仕上げ加工用プログラム作成方法及び注意点
 - (4) ノーズR補正
 - (5) 固定サイクルなど
3. プログラミング課題実習
4. 加工の検証と評価

実施日 123-1 12/9(月)~12/12(木)

定員 10名 受講料(税込) 16,000円

日数 4日間 時間数 24時間

持参品 筆記用具、作業服(上・下)、作業帽、安全靴

使用機器 NC旋盤(オークマ製、OSP-P300L)

前提スキル 本コース受講前にNo.SS「旋盤加工技術セットコース」の受講をおすすめします。



課題例

機械加工 ◆汎用フライス盤◆

FS

フライス盤加工技術セットコース(正面フライス編)&(エンドミル編)

Check!



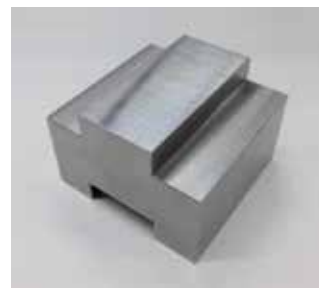
フライス盤加工(六面体加工、段付き加工)について学びます!
機械加工に携わっている方や携わる予定のある方、興味のある方を対象としています。

実施日	FS-1 6/10(月)~6/13(木) (No.124-1、No.125-1 各2日間) FS-2 11/5(火)~11/8(金) (No.124-2、No.125-2 各2日間) コース番号は「FS-O」と書いてください。		
定員	5名	受講料 (税込)	30,000円 (2つのコース合計の金額です)
日数	4日間	時間数	24時間
持参品	筆記用具、作業服(上・下)、作業帽、安全靴、保護メガネ		
使用機器	汎用フライス盤(ETSUKI製、2MF-V)		
前提スキル	ノギス、マイクロメータ(アナログ)が取り扱えることが望ましい。アナログタイプが取り扱えない方は、デジタル測定器をお貸しします。		

【前半(正面フライス編)】

フライス盤の安全作業、加工条件の選定、各種加工方法(正面フライスを使用した六面体加工)について、実習を通して習得します。

1. コース概要及び留意事項
2. フライス盤加工について
 - (1) フライス盤の操作・取扱い
 - (2) 切削条件の設定
 - (3) 治具の取付作業(バイスの平行だし)
 - (4) 工具(刃物)の取り付け
3. フライス盤加工実習(六面体加工)



課題例

【後半(エンドミル編)】

フライス盤の安全作業、加工条件の選定、各種加工方法(エンドミルを使用した段付き加工)について、実習を通して習得します。前半コースの外径加工部品との組合せ部品を製作していきます。

1. コース概要及び留意事項
2. フライス盤加工について
 - (1) フライス盤の操作・取扱い
 - (2) 切削条件の設定
 - (3) 治具の取付作業(バイスの平行だし)
 - (4) 工具(刃物)の取り付け
3. フライス盤加工実習(段付き加工)



※後半コースでは前半コースでの加工品に組み合わせる製品を削ります。そのため、1コースでの受講はできません。

※訓練の進行具合により多少時間を延長することがございます。

127 マシニングセンタプログラミング技術



マシニングセンタのプログラムについて学ぼう!
機械加工に携わっている方や携わる予定のある方、興味のある方を対象としています。

※本コースはオークマ製マシニングセンタ用のプログラミングです

1. コース概要及び留意事項
2. 各種機能とプログラム作成方法
 - (1) 主軸・送り・工具・準備・補助機能
 - (2) 機械座標系とワーク座標系
 - (3) 工具長オフセットと工具径オフセット及び注意事項
 - (4) サブプログラム
 - (5) 固定サイクル
 - (6) プログラムパターン
3. プログラミング課題実習
4. 加工の検証と評価

実施日 127-1 7/2(火)~7/5(金)

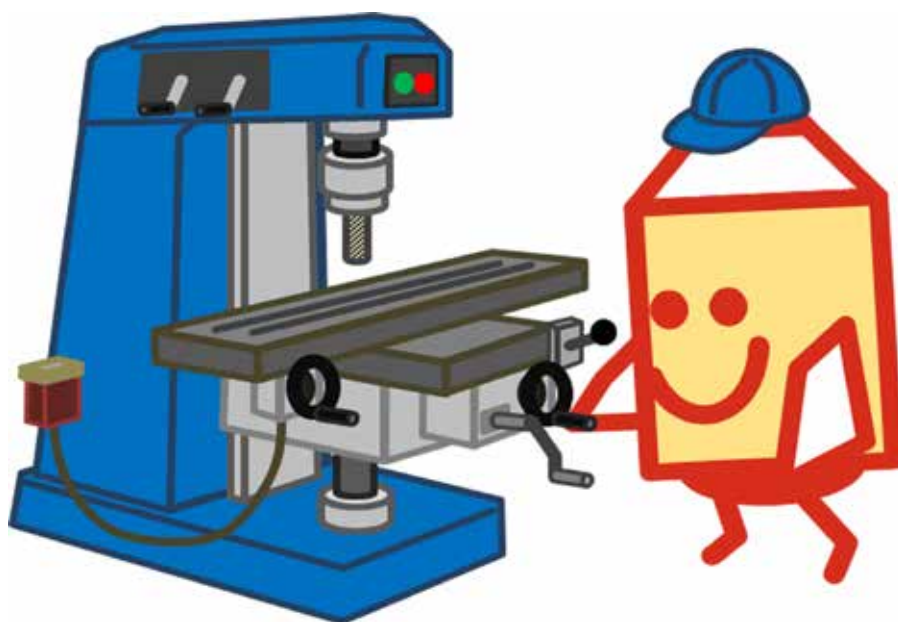
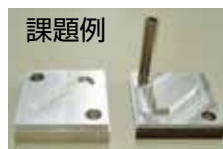
定員	10名	受講料 (税込)	14,500円
----	-----	-------------	---------

日数	4日間	時間数	24時間
----	-----	-----	------

持参品 筆記用具、作業服(上・下)、作業帽、安全靴

使用機器 マシニングセンタ
(オークマ製、OSP-P300M)

前提スキル 本コース受講前にNoFS「フライス盤加工技術」の受講をおすすめします。



機械加工 ◆溶接◆

130 被覆アーク溶接技能クリニック(板材編)

Check!



理論から実技まで被覆アーク溶接について学ぼう!
アーク溶接作業に携わっている方またはその候補者の方が対象です。

1. 被覆アーク溶接法と機器について
2. 被覆アーク溶接棒について
3. 完全溶込み溶接における溶接条件
4. 部分溶込み溶接における溶接条件
5. 各種姿勢溶接における溶接条件
6. 評価等

実施日 130-1 6/12(水)~6/13(木)
130-2 9/11(水)~9/12(木)

定員 10名 受講料(税込) 13,000円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 作業服、作業帽、安全靴、筆記用具、保護具

使用機器 被覆アーク溶接装置一式、器工具一式、安全保護具、曲げ試験機

前提スキル



機械加工 ◆溶接◆

131 被覆アーク溶接技能クリニック(固定管編)

Check!



水平・鉛直固定管の突合せ溶接を主にを行い、作業要領や適性条件を理解し、施工に関する技能習得を目指します。

1. 被覆アーク溶接法と機器について
2. 被覆アーク溶接棒について
3. 完全溶込み溶接における溶接条件
4. 水平・鉛直固定管溶接における溶接条件
5. 各種姿勢溶接における溶接条件
6. 評価等

実施日 131-1 11/6(水)~11/7(木)

定員 10名 受講料(税込) 25,500円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 作業服、作業帽、安全靴、筆記用具、保護具

使用機器 被覆アーク溶接装置一式、器工具一式、安全保護具

前提スキル コースNo.130「被覆アーク溶接技能クリニック(板材編)」を受講された方、または同等の知識・技能等がある方が対象です。

※中肉管(150A×80Sのt11)を使用します。



132 半自動アーク溶接技能クリニック(板材編)



理論から実技まで炭酸ガス半自動アーク溶接について学ぼう!
アーク溶接作業に携わっている方またはその候補者の方が対象です。

1. 半自動アーク溶接法と機器について
2. 溶接ワイヤ、シールドガスについて
3. 完全溶込み溶接における溶接条件
4. 部分溶込み溶接における溶接条件
5. 各種姿勢溶接における溶接条件
6. 評価等

実施日

132-1 5/8(水)~5/9(木)
132-2 9/25(水)~9/26(木)

定員

10名

受講料
(税込)

14,000円

日数

2日間

時間数

12時間

持参品

作業服、作業帽、安全靴、筆記用具、保護具

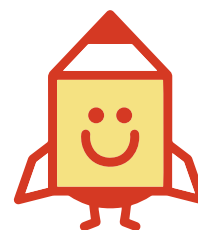
使用機器

半自動アーク溶接装置一式、器工具一式、安全保護具、曲げ試験機

前提スキル



ポリテクセンター栃木



ハロートレーニング
— 急がば学べ —

ポリテクセンター栃木(栃木職業能力開発促進センター) ホームページでも能力開発セミナー各コースについてご覧いただけます。
<https://www3.jeed.go.jp/tochigi/poly/>

機械加工 ◆溶接◆

134 ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック(板材編)



理論から実技までTIG溶接(ステンレス鋼)について学ぼう!
アーク溶接作業に携わっている方またはその候補者の方が対象です。

1. 直流TIG溶接法と機器について
2. ステンレス鋼、溶加棒、タングステン電極について
3. 完全溶込み溶接における溶接条件
4. 部分溶込み溶接における溶接条件
5. 各種姿勢溶接における溶接条件
6. 評価等

実施日

134-1 4/24(水)~4/25(木)
134-2 7/3(水)~7/4(木)
134-3 10/9(水)~10/10(木)

定員

10名

受講料
(税込)

15,000円

日数

2日間

時間数

12時間

持参品

作業服、作業帽、安全靴、筆記用具、保護具

使用機器

TIG溶接装置一式、器工具一式、安全保護具、曲げ試験機

前提スキル



機械加工 ◆溶接◆

135 ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック(固定管編)



水平・鉛直固定管の薄肉管溶接を主にを行い、作業要領や適性条件を理解し、施工に関する技能習得を目指します。

1. 直流TIG溶接法と機器について
2. ステンレス鋼、溶加棒、タングステン電極について
3. 完全溶込み溶接における溶接条件
4. 水平・鉛直固定管溶接における溶接条件
5. 各種姿勢溶接における溶接条件
6. 評価等

※薄肉管(100A×10Sのt3)を使用します。

実施日

135-1 5/22(水)~5/23(木)

定員

10名

受講料
(税込)

25,500円

日数

2日間

時間数

12時間

持参品

作業服、作業帽、安全靴、筆記用具、保護具

使用機器

TIG溶接装置一式、器工具一式、安全保護具

前提スキル

コースNo.134「ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック(板材編)」を受講された方、または同様の知識・技能等がある方が対象です。



機械加工 ◆溶接◆

136 アルミニウム合金のTIG溶接技能クリニック(板材編)



理論から実技までTIG溶接(アルミニウム合金)について学ぼう!
アーク溶接作業に携わっている方またはその候補者の方が対象です。

1. 交流TIG溶接法と機器について
2. アルミニウム合金、溶加棒、タングステン電極について
3. 完全溶込み溶接における溶接条件
4. 部分溶込み溶接における溶接条件
5. 各種姿勢溶接における溶接条件
6. 出力電流波形の条件の検討
7. 評価等

実施日 136-1 '25/1/16(木)~1/17(金)

定員 10名 受講料(税込) 15,000円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 作業服、作業帽、安全靴、筆記用具、保護具

使用機器 TIG溶接装置一式、器工具一式、安全保護具、曲げ試験機

前提スキル



機械加工 ◆溶接◆

New

137 パルスTIG溶接実践技術



理論から実技までパルスTIG溶接(ステンレス鋼)について学ぼう!
アーク溶接作業に携わっている方またはその候補者の方が対象です。

1. TIG溶接法と機器
2. パルスTIG溶接法
3. 低周波パルスTIG溶接
4. 中周波パルスTIG溶接
5. パルス溶接の優位性の検証(パルス有り、無しと比較)
6. 溶接品質に及ぼす諸因子の影響

実施日 137-1 12/4(水)~12/5(木)

定員 10名 受講料(税込) 15,000円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 作業服、作業帽、安全靴、筆記用具、保護具

使用機器 TIG溶接装置一式、器工具一式、安全保護具、曲げ試験機

前提スキル コースNo.134「ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック(板材編)」を受講された方、または同様の知識・技能等がある方が対象です。



138 設計・施工管理に活かす溶接技術



座学による溶接関連知識の習得、及び溶接の実体験を通じて溶接技術の要点を理解し、適切な設計、溶接指示、トラブル対処、品質改善などが出来る技術を習得します。

1. 溶接法及び溶接機器
2. 金属材料の溶接性ならびに溶接部の特徴
3. 溶接構造の力学と設計
4. 溶接施工実習
5. 引張強度試験

実施日 138-1 8/7(水)~8/8(木)

定員	10名	受講料 (税込)	13,000円
----	-----	-------------	---------

日数	2日間	時間数	12時間
----	-----	-----	------

持参品 作業服、作業帽、安全靴、筆記用具、保護具

使用機器 炭酸ガスアーク溶接装置、TIG溶接装置、引張試験機、器工具一式、安全保護具

前提スキル




ポリテクセンター栃木



ハートレーニング
— 急がば学べ —


ポリテクセンター栃木（栃木職業能力開発促進センター）ホームページでも能力開発セミナー各コースについてご覧いただけます。
<https://www3.jeed.go.jp/tochigi/poly/>

140 精密測定技術(長さ測定編)

	各種測定器について学ぼう! 機械加工や測定・検査業務に携わっている方や予定のある方、興味のある方を対象としています。			1. コース概要 2. 測定の重要性 3. 長さ測定実習 (1)測定誤差の原因と対策 (2)測定器の精度と特性 (3)マイクロメータ、ノギス、ハイトゲージ、ダイヤルゲージ、ブロックゲージなどの取扱い (4)定期検査・校正方法と検査用工具 (マイクロメータ、ノギスなど) 4. まとめ
	実施日	140-1	9/12(木)~9/13(金)	
	140-2	'25/2/6(木)~2/7(金)		
定員	10名	受講料 (税込)	7,500円	
日数	2日間	時間数	12時間	
持参品	筆記用具			
使用機器	各種測定器 (ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、ブロックゲージ、定盤など)			
前提スキル				



232 電子回路の計測技術

	電子部品検査の安全性及び生産性の向上を目指して、検査機器であるテスタ、オシロスコープの活用技術を習得します。			1. 電気・電子回路の概要 (1)電気について (2)電子部品の特性 2. テスタの特性 (1)テスタの原理 (2)各種調節等 (3)アナログテスタとデジタルテスタの違い 3. オシロスコープの特性 (1)オシロスコープの原理 (2)各種調節等
	実施日	232-1	5/23(木)~5/24(金)	
定員	10名	受講料 (税込)	9,000円	
日数	2日間	時間数	12時間	
持参品	筆記用具			
使用機器	デジタルテスタ、アナログテスタ、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ			
前提スキル				



シーケンス制御 ◆有接点◆

200 有接点シーケンス制御の実践技術

Check!



有接点シーケンス制御回路の設計・配線を習得します。これからシーケンス制御の勉強を始めようという方に最適のコースです。

実施日

200-1 5/22(水)~5/24(金)
200-2 7/3(水)~7/5(金)
200-3 11/18(月)~11/20(水)
200-4 '25/1/15(水)~1/17(金)

定員

10名

受講料
(税込)

12,500円

日数

3日間

時間数

18時間

持参品

筆記用具、作業のできる服装

使用機器

電磁継電器、スイッチ、表示灯、ブレーカ、回路計(テスタ)、工具、その他

前提スキル

- 各種制御機器の用途と種類
 - スイッチ、センサ等
 - 電磁接触器、電磁継電器、熱動継電器
 - 表示灯、ブレーカ、ヒューズなど
- 主回路と制御回路
 - 安全対策
 - 展開接続図の読み方
 - 機器の配置と接続方法
 - 各種制御回路
- 有接点シーケンス製作実習
 - 実習課題についての仕様説明
 - 展開接続図
 - 配線作業、及び試運転



シーケンス制御 ◆有接点◆

201 シーケンス制御による電動機制御技術

Check!



三相誘導電動機における有接点シーケンス制御回路の原理・配線を習得します。

実施日

201-1 8/7(水)~8/9(金)
201-2 '25/2/5(水)~2/7(金)

定員

6名

受講料
(税込)

20,000円

日数

3日間

時間数

18時間

持参品

筆記用具、作業のできる服装

使用機器

電磁接触器、電磁継電器、サーマルリレー、スイッチ、表示灯、ブレーカ、三相誘導モータ、回路計(テスタ)、工具、その他

前提スキル

コースNo.200「有接点シーケンス制御の実践技術」を受講しているか、またはこれと同等の知識を有することが前提となります。

- 三相電動機の概要
 - 三相誘導電動機の原理と始動法(Y-Δ始動等)
 - 定格(電圧、電流、回転数、トルクなど)
 - 制御機器及び計器
- 連続運転回転
 - 連続運転回転を用いた設計フロー
 - 電動機の駆動に適した機器の選定
 - タイムチャートの作成
 - 配線作業及び試運転
- 正逆運転回路
 - 運転回路設計
 - タイムチャートの作成
 - 配線作業及び試運転
- 電動機制御実習
 - 実習課題仕様
 - 制御回路組立ての留意事項
 - 安全性、効率性を考慮した回路設計実習
 - 配線(制御回路組立て)実習
 - 点検及び試運転



202 PLCプログラミング技術(ビット命令編)

Check!



PLC(三菱Qシリーズ)を用いたプログラミング技術を習得します。PLCによるシーケンス制御をこれから始めたい方のためのコースです。

1. 自動化におけるPLC
 - (1) シーケンス制御、PLC制御の概要
 - (2) 入出力インタフェース
2. プログラム設計
 - (1) プログラムの作成(ラダー図)
 - (2) 順序制御、タイマ、カウンタ
3. 自動制御システム制作実習
 - (1) 実習課題仕様
 - (2) 制御機器・駆動機器
 - (3) 配線
 - (4) プログラミング
 - (5) 試運転

実施日

202-1 6/12(水)~6/14(金)
202-3 12/11(水)~12/13(金)

定員

10名

受講料
(税込)

12,000円

日数

3日間

時間数

18時間

持参品

筆記用具、作業のできる服装

使用機器

PLC、パソコン、プログラミングツール、負荷装置、スイッチ、工具、その他

前提スキル

コースNo.200「有接点シーケンス制御の実践技術」を受講しているか、またはこれと同等の知識を有することが前提となります。パソコン操作に支障のない方が望ましいです。



203 PLCプログラミング技術(SFC編)

Check!



SFCを使用したPLC(三菱Qシリーズ)によるシーケンス制御技術、プログラミングの実務能力を習得します。

1. 自動化におけるPLC
 - (1) 自動化におけるPLCの位置づけ
 - (2) 入出力インタフェース
2. プログラム設計
 - (1) プログラムの作成(SFC)
 - (2) PLCにおける制御の構造化(ブロック)
 - (3) プログラムの標準化の必要性
 - (4) 拡張性、可読性のあるプログラムの検討
3. 自動制御システム制作実習
 - (1) 実習課題の仕様
 - (2) 配線作業、点検作業
 - (3) プログラミング
 - (4) 試運転、デバッグ

実施日

203-1 '25/1/8(水)~1/9(木)

定員

10名

受講料
(税込)

9,000円

日数

2日間

時間数

12時間

持参品

筆記用具、作業のできる服装

使用機器

PLC、プログラミングツール、負荷装置、工具

前提スキル

コースNo.202「PLCプログラミング技術(ビット命令編)」を受講しているか、またはこれと同等の知識を有することが前提となります。



243 PLC制御の回路技術（SBC+ソフトウェアPLC編）

Check!



シングルボードコンピュータにソフトウェアPLCを導入し、PLC回路に見立てた電子回路を制御するラダープログラミングを通して、手軽にPLC制御を学べる環境の構築手法を習得します。

1. シングルボードコンピュータの運用
 - (1) 開発用PCへのソフトウェアPLC統合開発環境の導入
 - (2) シングルボードコンピュータへのランタイム導入
2. PLCの回路設計
 - (1) 電子回路による模擬PLC回路の設計
 - (2) ラダープログラミング
3. データ共有
 - (1) GPIO制御プログラミング
 - (2) 制御情報の共有



実施日	243-1 '25/1/28(火)~1/29(水)		
定員	10名	受講料 (税込)	10,000円
日数	2日間	時間数	12時間
持参品	筆記用具、作業のできる服装		
使用機器	パソコン、SBC(Raspberry Pi)、ソフトウェアPLC(CODESYS)		
前提スキル			

ポリテクセンター栃木



ハロートレーニング
—— 急がば学べ ——

ポリテクセンター栃木（栃木職業能力開発促進センター）ホームページでも能力開発セミナー各コースについてご覧いただけます。
<https://www3.jeed.go.jp/tochigi/poly/>

223 マイコン制御システム開発技術(PIC編)

Check!



C言語を用いたマイコン制御技術を習得します。
これからPICマイコンを活用しようと考えている方に最適です。

1. マイコン概要
 - (1) マイコン・アーキテクチャ
 - (2) マイコンボード概要
2. 開発環境
 - (1) 開発環境構築
 - (2) プログラム開発フロー
3. マイコン周辺回路
 - (1) システム構成
 - (2) 入出力回路
 - イ. SW、LED回路
 - ロ. 各種入出力デバイスなど
 - (3) 内蔵周辺回路
 - イ. タイマー
 - ロ. 割り込み
 - ハ. A/D変換など
4. 制御システム開発実習
 - (1) 制御システムプログラム
 - イ. LED制御プログラム
 - ロ. モータ制御プログラム
 - ハ. センサ制御プログラムなど



実施日 223-1 9/11(水)~9/13(金)

定員 10名 受講料(税込) 12,000円

日数 3日間 時間数 18時間

持参品 筆記用具

使用機器 PICマイコン、モータ、センサ、開発ツール、ブレッドボード、パソコン等

前提スキル コースNo.227「組込み技術者のためのプログラミング」を受講された方、またはC言語の知識がある方が対象です。

225 マイコン制御システム開発技術(RL78編)

Check!



ルネサスのRL78/G13マイコンは、高速、高機能、低消費電力であるが、これまでのマイコンに比べて設定が複雑になっています。そのマイコンを使いこなす方法を習得します。

1. マイコン概要
 - (1) マイコン・アーキテクチャ
 - (2) マイコンボード概要
2. 開発環境
 - (1) 開発環境構築
 - (2) プログラム開発フロー
3. マイコン周辺回路
 - (1) システム構成
 - (2) 入出力回路
 - イ. SW、LED回路
 - ロ. 各種入出力デバイス等
 - (3) 内蔵周辺回路
 - イ. タイマー
 - ロ. AD変換
 - ハ. 通信
4. 制御システム開発実習
 - (1) 制御システムプログラム
 - イ. LED制御プログラム
 - ロ. センサ制御プログラムなど



実施日 225-1 9/26(木)~9/27(金)

定員 10名 受講料(税込) 9,500円

日数 2日間 時間数 13時間

持参品 筆記用具

使用機器 マイコンボード、モータ、センサ、オシロスコープ、開発ツール

※外部講師担当予定

前提スキル コースNo.227「組込み技術者のためのプログラミング」を受講された方、またはC言語の知識がある方が対象です。

226 マイコンによるLAN制御システム 開発実践技術（RL78編）

Check!



マイコンで簡単なWWWサーバを構築することを通じて、LANの通信原理を理解します。フレームの構造やカプセル化についても学びます。

1. マイコンLANシステムの概要
 - (1) LANの必要性、LANの利用方法
 - (2) マイコンインターフェース部
 - (3) 送受信部
2. TCP/IPの機能
 - (1) TCP/IPの機能と構造
 - (2) IP、ICMP、ARP
 - (3) TCP/UDP
 - (4) サービスコール
3. ハードウェア動作
 - (1) ネットワークI/F仕様
4. TCP・UDPサービスコール
 - (1) TCPサービスコール
 - (2) UDPサービスコール



※外部講師担当予定

実施日 226-1 10/2 (水) ~10/4 (金)

定員 10名 受講料 (税込) 12,500円

日数 3日間 時間数 18時間

持参品 筆記用具

使用機器 マイコンボード、センサ、オシロスコープ、開発ツール、ネットワーク監視ソフト

前提スキル コースNo.227「組込み技術者のためのプログラミング」を受講された方、またはC言語の知識がある方が対象です。

ポリテクセンター栃木

ハロートレーニング
—— 急がば学べ ——

ポリテクセンター栃木（栃木職業能力開発促進センター）ホームページでも能力開発セミナー各コースについてご覧いただけます。
<https://www3.jeed.go.jp/tochigi/poly/>

227 組み込み技術者のためのプログラミング

Check!



IoTの技術者養成の第一歩に最適です。一般的なC言語とは考え方が少々異なる、組み込み向けのC言語を習得したい方向けです。

C言語の基礎的内容と簡単な制御プログラム作成

1. C言語による開発のための環境設定
 - ・開発に必要な環境の紹介と簡単な操作方法
2. C言語プログラミング基礎
 - ・一般的なCと組み込みCとの相違点
 - ・変数やメモリー、制御文等を紹介
 - ・データ処理と配列の概念
 - ・関数化について
 - ・ポインター変数の概念と利用方法
3. 応用実習
 - LEDやタイマー、DCモーター、距離センサー等を利用してC言語の実習を行います。
 - ・関数呼び出し
 - ・制御構文によるLED制御
 - ・配列を利用したデータ処理
 - ・構造化プログラミングと関数化
4. まとめ



実施日

227-1 8/27(火)~8/28(水)
227-2 '25/2/20(木)~2/21(金)

定員

10名

受講料
(税込)

8,000円

日数

2日間

時間数

12時間

持参品

筆記用具

使用機器

マイコンボード(H8/3052F)+周辺機器、開発ツール(HEW)、ブレッドボード、パソコン

前提スキル

前提スキル等はありませんが、本コース受講後にコースNo.228「組み込みシステムにおけるプログラム開発技術」を受講されることをおすすめします。

228 組み込みシステムにおけるプログラム開発技術

Check!



IoTの実用的なC言語による組み込みプログラムを体験したい方向けです。

C言語を利用した高度な制御

1. マイコンアーキテクチャ
 - ・ターゲットマイコン(H8)の構成
2. プログラム開発技法
 - ・組み込みC言語の特徴
 - ・制御対象ハードウェア
 - ・ソースの作成から実行まで
 - ・デバッグの体験
3. 基本的な制御と実習
 - ・フロー制御構文による標準I/O制御
 - ・ポインターを利用した処理
4. 割り込み処理と実習
 - ・割り込みの概念と処理
5. 応用実習
 - ・LED、ADコンバーター、LCDによる制御実習
 - ・センサーを利用した制御実習
6. まとめ



実施日

228-1 8/29(木)~8/30(金)

定員

10名

受講料
(税込)

8,000円

日数

2日間

時間数

12時間

持参品

筆記用具

使用機器

マイコンボード(H8/3052F)+周辺機器、開発ツール(HEW)、ブレッドボード、パソコン

前提スキル

C言語の基本を理解していることを前提とします。コースNo.227「組み込み技術者のためのプログラミング」を前もって受講されることをおすすめします。

電子回路設計 ◆アナログ◆

220 トランジスタ回路の設計・評価技術(アナログ回路 トランジスタ編)



トランジスタを用いた増幅回路の設計・制作を通して、理解を深めていきます。これからアナログ電子回路を学習しようと考えている方に最適です。

1. トランジスタの知識
 - (1) トランジスタの動作
2. トランジスタ利用回路の知識
 - (1) 動作原理
イ. スイッチング回路
ロ. 増幅回路
 - (2) 部品の役割
 - (3) 入出力特性
 - (4) 配線及び動作確認
3. トランジスタ利用回路の設計方法
 - (1) 設計手順
イ. スイッチング回路
ロ. 増幅回路
 - (2) 設計のポイント
 - (3) シミュレーション
4. トランジスタ回路の設計・評価実習
 - (1) 回路設計
イ. スイッチング回路
ロ. 増幅回路
 - (2) 回路製作
 - (3) 動作確認と特性の測定



実施日 220-1 7/4(木)~7/5(金)

定員 10名 受講料(税込) 11,000円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 筆記用具

使用機器 パソコン、回路シミュレータ、直流電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、各種工具、電卓、その他

前提スキル

電子回路設計 ◆アナログ◆

221 オペアンプ回路の設計・評価技術(アナログ回路 オペアンプ編)



アナログ回路設計の生産性の向上をめざして、オペアンプ回路の設計技術とその評価技術を習得します。

1. オペアンプの知識
 - (1) オペアンプの動作モデル
 - (2) 各種増幅回路への応用
2. オペアンプ利用回路の知識
 - (1) 動作原理 (コンパレータ、増幅回路、各種演算回路)
 - (2) 部品の役割
 - (3) 入出力特性
3. オペアンプ利用回路の設計方法
 - (1) 設計手順
 - (2) 設計コンセプト
 - (3) 設計のポイント
4. オペアンプ回路の設計・評価実習
 - (1) 回路設計
 - (2) 回路製作
 - (3) 動作確認と特性の測定



実施日 221-1 7/18(木)~7/19(金)

定員 10名 受講料(税込) 11,000円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 筆記用具

使用機器 直流電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、実習用基板、マルチメータ、パソコン、回路シミュレータ、その他

前提スキル コースNo.220「トランジスタ回路の設計・評価技術」を受講しているか、またはこれと同等の知識を有することが前提となります。

222 デジタル回路設計技術



デジタル回路設計の基盤となる組み合わせ論理回路と順序回路の動作や設計技術を製作実習を通して習得します。

1. 論理代数と論理回路の確認
 - (1) デジタルとアナログ、2進数、16進数
 - (2) 論理演算、ブール代数
 - (3) 真理値表と論理式
2. デジタル回路のハードウェア
 - (1) 各種規格
 - (2) スイッチ入力回路
 - (3) LED出力回路
3. 組み合わせ論理回路
 - (1) 論理式の簡単化
 - (2) 代表的な組み合わせ論理回路
 - イ. 加算回路
 - ロ. セレクタ回路
 - ハ. デコーダ回路
4. 順序回路
 - (1) 各種フリップフロップ
 - (2) シフトレジスタ
 - (3) カウンタ
5. デジタル回路の設計・評価実習



実施日 222-1 7/10(水)~7/12(金)

定員	10名	受講料 (税込)	12,000円
----	-----	-------------	---------

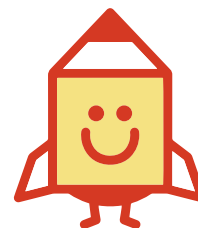
日数	3日間	時間数	18時間
----	-----	-----	------

持参品 筆記用具

使用機器 オシロスコープ、パルス発振器、安定化電源装置、IC及び電子部品、工具一式、その他

前提スキル

ポリテクセンター栃木



ハートレーニング
— 急がば学べ —

ポリテクセンター栃木（栃木職業能力開発促進センター）ホームページでも能力開発セミナー各コースについてご覧いただけます。
<https://www3.jeed.go.jp/tochigi/poly/>

231 基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術

Check!



鉛フリーはんだの特性について学習し、手はんだ付けによる実装のポイントを習得します。

1. 手はんだ付けの科学的知識

- (1) 鉛フリー化
- (2) 実装条件
- (3) めれ性
- (4) フラックス



2. 鉛フリー手はんだ付けの課題

- (1) はんだ組成の影響
- (2) はんだ作業の課題
- (3) はんだ修正の課題



3. 鉛フリー手はんだ作業のポイント

- (1) 温度管理の必要性
- (2) はんだこての選定
- (3) こて先の寿命対策



4. 鉛フリー手はんだ付け実習

- (1) 不良発生の原因と対策
- (2) 信頼性の高いはんだ付け技能
- (3) はんだ付けの良否判定

実施日
231-1 4/25(木)~4/26(金)
231-2 8/21(水)~8/22(木)
231-3 '25/1/30(木)~1/31(金)

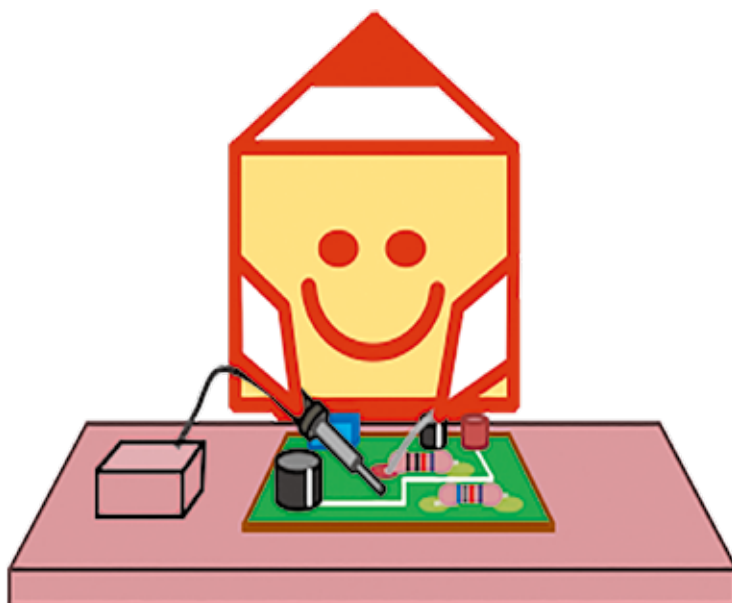
定員 10名 受講料(税込) 13,500円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 筆記用具、作業のできる服装

使用機器 はんだこて、実習用基板・部品等、ルーペ(顕微鏡)、工具一式

前提スキル



313 冷媒配管の施工と空調機器据付け技術

Check!



壁掛け式ルームエアコンを据付けし、試運転・測定後、撤去までの作業を行っていただきます。ルームエアコン(壁掛け)の据付け作業の施工方法の習得が目標です。

ルームエアコンの据付け作業に従事する場合、作業ができることはもちろんですが、施工不良等未然に防止するためにも冷凍サイクルや冷媒(フルオロカーボン)の特性などを理解しておくことが欠かせません。本講習ではルームエアコン(壁掛け)の据付け作業を通して、施工方法を習得します。

実施日

313-1 7/8(月)~7/9(火)
313-2 '25/1/16(木)~1/17(金)

定員

7名

受講料
(税込)

14,000円

日数

2日間

時間数

12時間

持参品

筆記用具、作業着を着用をお願いします。

使用機器

ルームエアコン、ペアコイル、真空ポンプ、ゲージマニホールド、トルクレンチ、フレアダイス、パイプカッター、ベンダー等

- ・冷凍サイクルとフルオロカーボンについて
- ・壁掛けルームエアコン据付け作業
- ・冷媒配管加工作業(フレア加工)
- ・冷媒充填作業
- ・試運転作業(計測)



写真はイメージです。(実際と異なります。)

前提スキル

ポリテクセンター栃木



ハロートレーニング
— 急がば学べ —

ポリテクセンター栃木(栃木職業能力開発促進センター) ホームページでも能力開発セミナー各コースについてご覧いただけます。
<https://www3.jeed.go.jp/tochigi/poly/>

住宅 ◆建築設計・建築製図◆

使用機器：AutoCAD

300 実践建築設計2次元CAD技術(Aコース)

Check!



・建築CADを初めて使う方
 ・仕事で使っているが独学で使用している方
 ・今以上に専門的な知識を身につけたい方
**基礎から応用までじっくり学べます。
 ぜひご受講ください!**

1. 実践的な建築図面作成の要点
2. CAD図面作成
3. 図面間でのデータ活用
4. 建築一般図演習課題
5. 個々に応じた効率的な図面作成方法の提案

実施日 300-1 5/13(月)~5/14(火)
 300-2 11/11(月)~11/12(火)

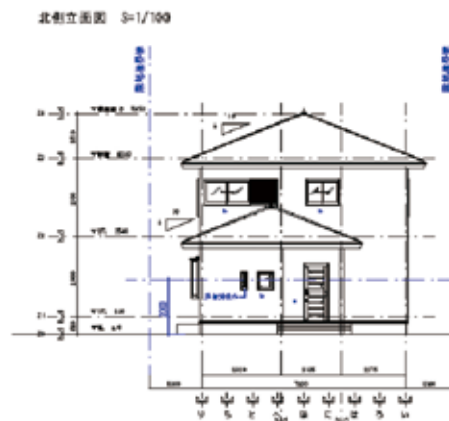
定員 10名 受講料 (税込) 9,000円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 筆記用具
 USB(AutoCADデータ保存用)

使用機器 汎用2次元CADシステム(AutoCAD)

前提スキル パソコン操作のできる方



※外部講師担当予定

住宅 ◆建築設計・建築製図◆

使用機器：JWCAD

301 実践建築設計2次元CAD技術(Jコース)

Check!



・建築CADを初めて使う方
 ・仕事で使っているが独学で使用している方
 ・今以上に専門的な知識を身につけたい方
**基礎から応用までじっくり学べます。
 ぜひご受講ください!**

1. 実践的な建築図面作成の要点
2. CAD図面作成
3. 図面間でのデータ活用
4. 建築一般図演習課題
5. 個々に応じた効率的な図面作成方法の提案

実施日 301-1 5/20(月)~5/21(火)
 301-2 11/18(月)~11/19(火)

定員 10名 受講料 (税込) 9,000円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 筆記用具
 USB(JWCADデータ保存用)

使用機器 汎用2次元CADシステム(JWCAD)

前提スキル パソコン操作のできる方



※外部講師担当予定

302 実践建築設計3次元CAD技術

Check!



・住宅の3DCADに興味のある方
 ・住宅、リフォームの提案用ツールを増やしたい方

3DCADが使えるようになります。
 ぜひご受講ください!

1. 3Dマイホームデザイナーの基本操作
2. 3D図面作成
3. 3Dパーツの作成
4. 3Dデータを使っでのプレゼンテーション技法
5. 他のCADソフトへのデータの移動

実施日 302-1 5/27(月)~5/28(火)
 302-2 11/25(月)~11/26(火)

定員 10名 受講料(税込) 9,000円

日数 2日間 時間数 12時間

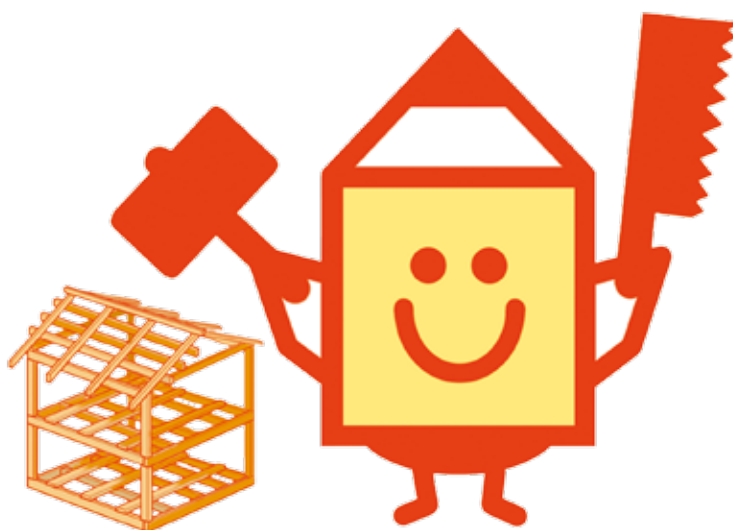
持参品 筆記用具
 USB(3DCADデータ保存用)

使用機器 汎用3次元CADシステム(3Dマイホームデザイナー)

前提スキル パソコン操作のできる方



※外部講師担当予定



住宅 ◆建築設計・建築製図◆

使用機器：Revit

303 BIMを用いた建築設計技術(RC編)

Check!



・BIMシステムを導入予定の方
 ・仕事でRevitを使用している方
 ・今以上に専門的な知識を身につけたい方
**基礎から応用までじっくり学べます。
 ぜひご受講ください!**

1. Revitの基本操作
2. 平面図作成 (RC)
3. 立面図作成 (RC)
4. 断面図作成 (RC)
5. 個々に応じた効率的な図面作成方法の提案

実施日 303-1 6/6(木)~6/7(金)
 303-2 9/5(木)~9/6(金)

定員 10名 受講料 (税込) 9,000円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 筆記用具
 USB

使用機器 BIMに対応したソフト(Revit)

前提スキル パソコン操作のできる方



住宅 ◆建築設計・建築製図◆

使用機器：Revit

304 BIMを用いた建築設計技術(木造編)

Check!



・BIMシステムを導入予定の方
 ・仕事でRevitを使用している方
 ・今以上に専門的な知識を身につけたい方
**基礎から応用までじっくり学べます。
 ぜひご受講ください!**

1. Revitの応用操作
2. 平面図作成 (木造)
3. 立面図作成 (木造)
4. 断面図作成 (木造)
5. 個々に応じた効率的な図面作成方法の提案

実施日 304-1 6/13(木)~6/14(金)
 304-2 9/12(木)~9/13(金)

定員 10名 受講料 (税込) 9,000円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 筆記用具
 USB

使用機器 BIMに対応したソフト(Revit)

前提スキル パソコン操作のできる方(RC編を受講されている方)



305 ドローンを活用した測量実践技術

Check!



・ドローンに興味のある方
 ・測量にドローンを取り入れようと考えて方
 いる方
 ・ドローンを操作してみたい方
 ぜひご受講ください!

1. ドローンの操作
2. ドローンを使つての測量

実施日

305-1 7/29(月)~7/30(火)
 305-2 11/7(木)~11/8(金)

定員

10名

受講料
(税込)

14,500円

日数

2日間

時間数

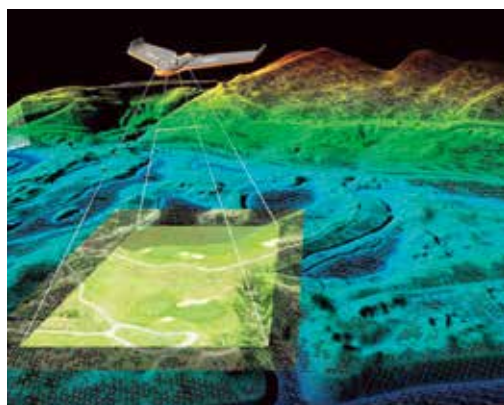
12時間

持参品

筆記用具、作業服着用をお願いします。

使用機器

ドローン、その他



※外部講師担当予定

前提スキル

ドローンの認定コースではございません。

ポリテクセンター栃木



ハートレーニング
 — 急がば学べ —

ポリテクセンター栃木（栃木職業能力開発促進センター）ホームページでも能力開発セミナー各コースについてご覧いただけます。
<https://www3.jeed.go.jp/tochigi/poly/>

住宅 ◆施工工事/施工管理◆

使用機器： AutoCAD

306 施工図作成実践技術(建築編)

Check!



- ・施工図作成を初めてされる方
- ・施工図に興味のある方
- ・今以上に専門的な知識を身につけたい方
ぜひご受講ください!

AutoCADを使用して、施工図(建築)の基礎から学びます。

実施日 306-1 9/19(木)~9/20(金)

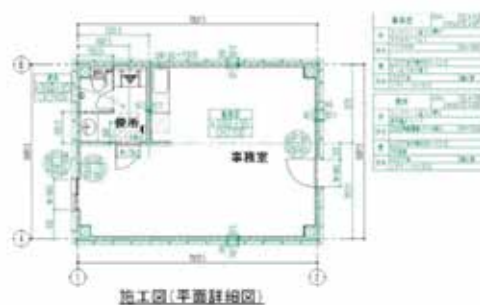
定員 10名 受講料(税込) 9,000円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 筆記用具、USB

使用機器 パソコン

前提スキル



施工図(平面詳細図)

住宅 ◆施工工事/施工管理◆

使用機器： AutoCAD

307 施工図作成実践技術(土木編)

Check!



- ・施工図作成を初めてされる方
- ・施工図に興味のある方
- ・今以上に専門的な知識を身につけたい方
ぜひご受講ください!

AutoCADを使用して、施工図(土木)の基礎から学びます。

実施日 307-1 9/24(火)~9/25(水)

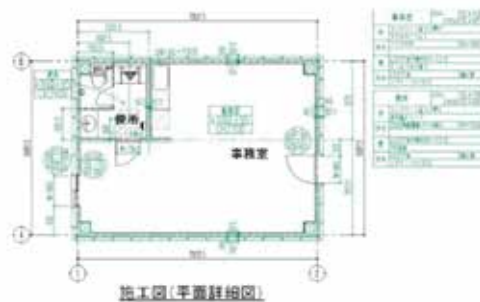
定員 10名 受講料(税込) 9,000円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 筆記用具、USB

使用機器 パソコン

前提スキル



施工図(平面詳細図)

308 建設業の安全衛生管理

Check!



- ・安全衛生に興味のある方
 - ・安全衛生管理の仕事をしている方
 - ・今以上に専門的な知識を身につけたい方
- ぜひご受講ください!

安全衛生管理について基礎から学びます。

実施日 308-1 4/17(水)~4/18(木)

定員	10名	受講料 (税込)	9,000円
----	-----	-------------	--------

日数	2日間	時間数	12時間
----	-----	-----	------

持参品 筆記用具

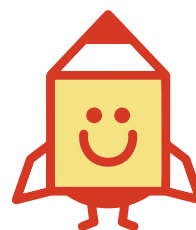
使用機器

前提スキル



※外部講師担当予定

ポリテクセンター栃木



ハロートレーニング
— 急がば学べ —

ポリテクセンター栃木（栃木職業能力開発促進センター）ホームページでも能力開発セミナー各コースについてご覧いただけます。
<https://www3.jeed.go.jp/tochigi/poly/>

380 高圧電気設備の保守点検技術

Check!



高圧電気設備の工事・維持及び運用実務を効率良く安全に行える技能・技術を習得します。
人気コースのためお申し込みはお早めにお願いたします。

実施日 380-1 9/18(水)~9/20(金)

定員 10名 受講料(税込) 14,500円

日数 3日間 時間数 18時間

持参品 筆記用具、作業のできる服装

使用機器 保護継電器試験器、継電器(OCR、GR)、絶縁診断試験器、放射温度計、その他

前提スキル 第二種電気工事士に相当する知識を有する方を前提とします。

1. 自家用電気工作物の概要
 - (1) 電気安全について
 - (2) 高圧受電設備の概要

2. 高圧電気設備の点検実習(停電)
 - (1) 模擬キュービクルでの操作、点検実習
 - (2) 模擬キュービクルでの測定、試験実習

3. 保守点検
 - (1) 高圧電気事事故事例
 - (2) 機械監視の保守点検

4. 高圧電気設備の「点検実習(充電)」
 - (1) 高圧充電(6.6kV)
 - (2) キュービクルでの漏電調査
 - (3) 高圧絶縁耐力試験

5. 保護協調



※外部講師担当予定

New

410 機械要素保全

Check!



機械設備の故障低減を目指して機械要素部品のしくみと保全方法を学びましょう。

実施日 410-1 6/26(水)~6/27(木)
410-2 10/16(水)~10/17(木)

定員 10名 受講料(税込) 16,500円

日数 2日間 時間数 14時間

持参品 作業服(上着)、作業帽

使用機器 作業工具一式、トルクレンチ、減速機、伝達装置・電動機等実習装置一式

前提スキル

1. コース概要
 - (1) コースの目的
 - (2) 専門的能力の現状確認
 - (3) 安全上の留意事項

2. 保全方式概要
 - (1) 保全方式の分類
 - (2) 保全方式の長所と短所
 - (3) 保全における経済性
 - (4) ライフサイクルコスト
 - (5) 保全予防の重要性

3. 設備の点検
 - (1) 点検技術標準
 - (2) 日常点検と定期点検
 - (3) 故障の発生箇所分析
 - (4) 故障の原因分析
 - (5) 寿命のばらつきと修理周期

4. ボルト・ナット
 - (1) ねじの種類、形状、特徴、用途
 - (2) 適正な締め付け力についての締結実習
 - (3) ねじの緩みの原因
 - (4) ボルト・ナットの緩み止め
 - (5) ボルト締結部の点検方法

5. キー
 - (1) キーの種類と特徴
 - (2) キーの材質と呼び方
 - (3) キーの点検とトラブル対策

6. ピン・コッター
 - (1) ピン・コッターの種類と構造
 - (2) 点検のポイント

7. 軸受
 - (1) すべり軸受の種類、特徴
 - (2) 転がり軸受の種類、精度、はめあい
 - (3) 転がり軸受のすき間、予圧、寿命
 - (4) 転がり軸受の損傷、原因、対策

8. 軸・軸継手
 - (1) 軸の種類、強度、材料
 - (2) 軸の損傷原因と対策
 - (3) 軸継手の種類、特徴、原因、対策

9. その他
 - (1) シール、歯車、減速機の種類、特徴、保全

10. 確認・評価
 - (1) 伝動軸の疲労強度設計演習
 - (2) 演習成果発表
 - (3) 講師による評価

230 製造現場におけるLAN活用技術

Check!



ネットワークに関する知識を深めたい、またはLAN構築に興味がある方に必見!
Ciscoのネットワーク機器(スイッチとルータ)を使って、コマンド入力による設定実習を行います。

実施日 230-1 12/12(木)~12/13(金)

定員	5名	受講料 (税込)	14,500円
----	----	-------------	---------

日数	2日間	時間数	12時間
----	-----	-----	------

持参品 筆記用具

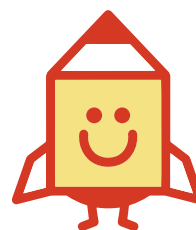
使用機器 パソコン、LAN関連機器

前提スキル 前提スキル等は特にありませんが、パソコン操作ができる方。(キーボード入力作業を含む)

1. ネットワーク概要
 - (1) ネットワークの概要とプロトコル
 - (2) ネットワークの種類と構成
2. プロトコル概要と設定
 - (1) プロトコルの種類と役割
 - (2) TCP/IPプロトコル
 - イ. IPアドレス等の設定
 - ロ. ネットワークコマンドの使用
 - ハ. パケット解析ソフトの活用
 - ニ. 遠隔操作・ファイル転送
3. ネットワーク機器の役割と設定
 - (1) スイッチ(L2SW)
 - イ. 基本設定
 - ロ. VLAN設定
 - ハ. 管理用IPアドレスの設定
 - (2) ルータ
 - イ. 基本設定
 - ロ. ルーティングテーブルの設定
 - ハ. VLAN間通信
4. LAN構築実習
 - (1) LAN構築実習
 - イ. スイッチ、ルータ、パソコン等でLANの設計・構築を行う



ポリテクセンター栃木



ハロートレーニング
— 急がば学べ —

ポリテクセンター栃木(栃木職業能力開発促進センター) ホームページでも能力開発セミナー各コースについてご覧いただけます。
<https://www3.jeed.go.jp/tochigi/poly/>

保全・管理・教育 ◆管理・教育◆

400 なぜなぜ分析による製造現場の問題解決

Check!



ものづくり現場で発生している問題の真の原因を効率的に見つけだし、効果的な解決策を策定する手法をマスターします。

問題の発見と対策で悩んでいる方に、早期解決のための論理的思考による問題解決の基本を学びます。

実施日 400-1 9/5(木)~9/6(金)

定員 20名 受講料 (税込) 9,000円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 筆記用具

使用機器 ホワイトボード、模造紙、マーカー、付箋紙

前提スキル

1. コース概要
2. 効果的な問題解決
 - (1) 効果的・効率的な問題解決とは
 - (2) 演習 情報整理と仕分け
3. なぜなぜ分析の進め方
 - (1) 効率的な問題解決の進め方
 - イ. なぜなぜ分析のポイント
 - ロ. 問題解決に役立つツールと使い方
 - ハ. 問題の定量化
 - ニ. 論理の精査とIsnotによる真因検証
 - ホ. 対処と解決
 - (2) 演習 真因追及と検証
4. 総合演習
 - (1) なぜなぜ分析で製造現場の問題解決
 - イ. 事例読み込み
 - ロ. 問題の抽出と真因追及
 - ハ. 真因検証と解決策の策定
 - ニ. 解決策の評価
 - ホ. 発表と講師講評
5. まとめ

※外部講師担当予定

保全・管理・教育 ◆管理・教育◆

401 なぜなぜ分析による真の要因追及と現場改善

Check!



ものづくり現場の問題を発見する手法、問題点を解決する「なぜなぜ分析手法」を身につけます。
なぜなぜ分析を効率的に進めて効果の高い解決策を策定する手法を、現場に即した演習を通じて学びます。

実施日 401-1 12/19(木)~12/20(金)

定員 20名 受講料 (税込) 9,000円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 筆記用具

使用機器 ホワイトボード、模造紙、マーカー、付箋紙

前提スキル 本コースを受講前にNo.400「なぜなぜ分析による製造現場の問題解決」の受講をおすすめします。

1. コース概要
2. 問題解決の進め方
 - (1) 問題解決の重要性
 - (2) 問題解決の進め方 など
3. なぜなぜ分析
 - (1) なぜなぜ分析とは
 - (2) なぜなぜ分析の進め方
 - (3) 情報整理演習
4. 工程の原理・原則
 - (1) 工程精通(工程の原理・原則)
 - (2) 原則発見のポイント
 - (3) 問題発見原因追及演習
5. ポカミス防止
 - (1) ポカミスとは(真の要因が追求できていない代表事例)
 - (2) ポカミスの発生
 - (3) インシデントマネジメント
 - (4) インシデントマネジメント演習
6. グループ実習
 - (1) 状況把握と整理
 - (2) 原因追及と課題の整理
 - (3) 改善策の策定と改善計画立案
 - (4) 発表 など

※外部講師担当予定

402 ヒューマンエラー対策実践

Check!



ポカミスのない職場作りを!
ヒューマンエラー発生メカニズムを理解し、エラーを発生させない仕組み作りと、エラー再発防止策の実践力を習得します。また、職場に展開し定着させる有効な手法も習得します。

1. コース概要
2. ヒューマンエラーとは
 - (1) ヒューマンエラー概要
 - (2) ヒューマンエラー発生メカニズム
 - (3) 行動科学と心理的要因
 - (4) 事例演習「ヒューマンエラー事例からエラーを考える」
3. ヒューマンエラー防止策
 - (1) 予防安全と発生時対処
 - (2) 設備や作業要素からヒューマンエラーの要因を排除する
 - (3) 担当者の行動からヒューマンエラー発生要因を削減する
 - (4) 視覚効果を使う
 - (5) 演習「職場のヒューマンエラー問題を明らかにする」
4. 現場での定着
 - (1) 定着とは(わかる・動ける・守れる)
 - (2) 間違った3大対策(犯人を探す、本人の責任追求をする、対処に終わる)
 - (3) 職場で事例を共有、全員で対策を検討
 - (4) 現場パトロールと無事故シール
5. 総合演習
 - (1) 職場のヒューマンエラー対策と定着策を立案し、実行策を策定する
イ. ヒューマンエラーを部門別(設計開発・加工組立など)に分解
ロ. 発生原因追求と短期的・長期的解決策の立案
ハ. 発表・受講生相互コメント・講師講評と振り返り講義
6. まとめ ※外部講師担当予定

実施日 402-1 7/25(木)~7/26(金)

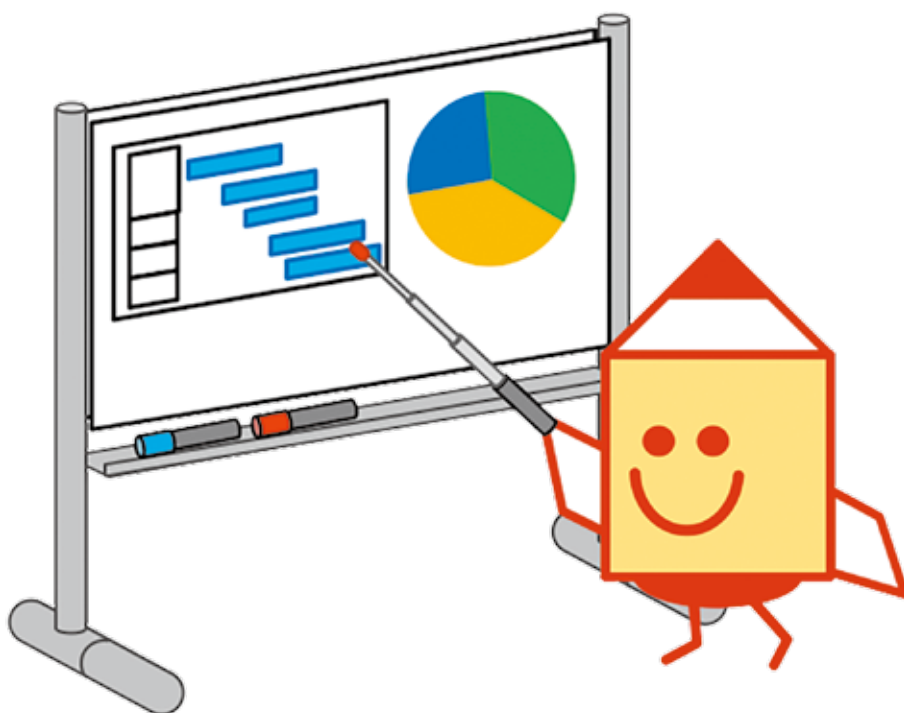
定員	20名	受講料 (税込)	9,000円
----	-----	-------------	--------

日数	2日間	時間数	12時間
----	-----	-----	------

持参品 筆記用具

使用機器 ホワイトボード、テキスト

前提スキル 生産現場で、安全衛生または、作業管理を行っている方向けのコースです。



403 QC7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証

Check!



QC7つ道具の活用方法をマスターしよう!
 生産現場における業務の効率化・最適化(改善)による生産性向上をめざして、製造現場で発生する問題について、QC7つ道具を使用して、定量的および定性的な問題分析をおこない、解決していくための手法を習得します。

1. コース概要及び留意事項
2. 品質管理
 - (1)品質管理 品質保証 品質改善 (問題解決)
 - (2)品質管理の重要性
3. 製造業における定量的な問題の解決技法
 - (1) QC7つ道具の使い方と留意点
 - イ. QC7つ道具の概要
 - ロ. QC7つ道具の使い方のポイント
 - ハ. 演習 QC7つ道具体験
 - (2) 品質管理演習 QC7つ道具活用実践
 - イ. 課題読み込み
 - ロ. データ分析
 - ハ. 発表・講評
4. 総合演習
 - (1) 受講者の製造工程における統計的な手法を用いた管理図の作成
 - (2) 受講者自身が担当する機械部品等の製造・検査工程での課題
 - (3) 課題解決に向けた特性要因図の作成
5. まとめ

QC7つ道具

・パレード図・ヒストグラム・管理図
 ・散布図・特性要因図・チェックシート・層別

※外部講師担当予定

実施日 403-1 6/6(木)~6/7(金)

定員 20名 受講料 (税込) 9,000円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 筆記用具

使用機器 ホワイトボード、模造紙、マーカー、付箋紙

前提スキル 生産現場で品質管理や品質改善に携わっている方、QC7つ道具を習得したい方向けのコースです。

New

404 生産現場改善手法(現場力向上)

Check!



生産現場の問題をどのように認識(発見)し、改善テーマを見つけていくのか、そして改善テーマに対してどのような改善行動を取ればよいのか、作業環境、作業、作業要員の3つの軸で現場を改善する手法を習得します。

1. 現場担当者の考働力向上
 - (1) 担当者に必要な意識と行動
 - (2) 顧客意識と組織を代表している意識
 - (3) 協働意識
 - (4) 協働にかかせないコミュニケーション
 - (5) コスト意識
 - (6) カイゼン意識
2. 生産の基本
 - (1) 生産の全体像
 - (2) 生産の中身
3. 生産現場の管理
 - (1) PDCA
 - (2) SDCA
 - (3) 現場力の基本(6S)
4. 生産現場の改善
 - (1) 問題発見と解決の重要性
 - (2) 問題と課題
 - (3) ヒューマンエラー
 - (4) 問題発見の第一歩
 - (5) 改善の視点
 - (6) 段取り改善
 - (7) 問題発見のための観察技法

※外部講師担当予定

実施日 404-1 '25/2/6(木)~2/7(金)

定員 20名 受講料 (税込) 9,000円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 筆記用具

使用機器 ホワイトボード、模造紙、マーカー、付箋紙

前提スキル 生産現場で生産性向上(カイゼン活動)に携わっている方、またはこれから担当する方を対象とします。

405 製造現場担当者の実践力向上(職場のリーダーを目指そう)

Check!



製造現場担当者に求められるスキルを学びたい方へ最適です!
生産現場における業務の効率化をめざして、問題発生時対処の迅速化及び、積極的に問題解決と意思決定していくための手法を習得します。製造現場での仕事の進め方のポイントを学びます。

1. コース概要及び留意事項
2. オリエンテーション
 - (1) モノづくり現場と担当者の心構えの振り返り
 - (2) 自考自律型担当者が求められている背景
3. 製造業現場における担当者の必須スキル
 - (1) 現場担当者に必要な意識と行動
 - イ. 組織と組織人の意識の再認識
 - ロ. 多様な利害関係者との良好な関係構築スキル向上のポイント
 - ハ. お客様との接点での行動の振り返り(挨拶から始まる現場の品質)
 - (2) 現場の生産性・統率力
 - イ. 生産管理と品質管理
 - ロ. チーム向上力
 - ハ. 問題解決力
 - (3) 演習 上記内容の個人検討とグループ検討及び発表
4. 製造現場での着眼点
 - (1) 需要の3要素と生産の4要素
 - (2) 現場で5Sや安全衛生が重要視される理由
 - (3) コミュニケーションの重要性
5. 製造現場での自身の行動課題演習
 - (1) 現場力強化に向けた取り組み
 - イ. 自身の棚卸と課題設定
 - ロ. 現場の価値抽出
 - ハ. 現場の課題抽出
 - ニ. 現場力強化のための自考自律的行動
 - ホ. 発表
 - ヘ. 講師講評
6. まとめ ※外部講師担当予定

実施日 405-1 11/14(木)~11/15(金)

定員 20名 受講料(税込) 8,500円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 筆記用具

使用機器 ホワイトボード、テキスト

前提スキル 製造現場のリーダーを目指す方にお勧めのコースです。

406 製造現場における安全衛生活動の指導法

Check!



災害0の現場へ!
災害が発生するメカニズムや事例を通して、各種安全対策や危険予知方法を学びます。また、安全衛生活動の継続及び指導技法を学ぶことにより、製造現場の安全性向上を目指します。

1. コース概要及び留意事項
2. 安全概要
 - (1) 製造現場における災害について
 - (2) 災害発生メカニズムと要因及び災害事例
 - (3) 安全衛生の概要及び災害発生時の対応
 - (4) 一般的な応急・救命手当
 - (5) ハラスメント対策
3. 労働安全衛生マネジメント
 - (1) 労働安全衛生マネジメントシステムISO45001とOSHMS
 - (2) リスクアセスメント
4. 安全衛生活動と指導法
 - (1) ヒヤリ・ハット報告
 - (2) 危険予知訓練(KYT)
 - (3) 作業開始前点検、5Sの取組み
 - (4) 視覚的な安全衛生活動とは
 - (5) 安全衛生の指導
5. 労働環境と安全衛生
 - (1) 各種安全対策と効果
 - (2) 安全衛生法規、安全衛生管理法
6. 総合演習
 - (1) ケーススタディによる事故原因の分析と対策
 - (2) 各種作業におけるリスクアセスメントのグループ討議、発表
 - (3) 危険予知(KYT)演習による模擬審査(ロールプレーイング)
7. まとめ ※外部講師担当予定

実施日 406-1 8/29(木)~8/30(金)

店員 20名 受講料(税込) 9,000円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 筆記用具

使用機器 ホワイトボード、テキスト

前提スキル 生産現場で、安全衛生または、作業管理を行っている方向けのコースです。

407 現場の問題解決実践(5Sの実践と定着)

Check!



5Sは現場改善に必須です。
実践と定着の指導方法をマスターしよう!
 5Sの大切さを認識するだけでなく、5Sを職場に
 どうやって根付かせていけばよいのか、実践のポイ
 ントを習得します。また、5Sの対象範囲を広げ、人や
 モノの動きも5Sを活用していくことを習得します。

1. コース概要
2. 現場改善技法のポイント
 - (1) 現場改善の代表的なツール
 - (2) 改善が定着しない要因
3. 現場改善指導
 - (1) 指導計画の要点
 - (2) 演習「指導計画書の作成」
4. 現場改善の実践
 - (1) 整理・整頓の手順と指導方法
 - イ. 整理・整頓の技法
 - ロ. 整理の技法(ABC分類)と整頓の技法(棚割、ピクトグラム、図解化)
 - ハ. 指導技法(担当者の技量に応じた指導技法、作業内容に応じた指導技法)
 - (2) 清掃と清潔の手法と指導方法
 - イ. 清掃の意味と目的
 - ロ. 清掃・清潔不良による事故
 - (3) 躰の方法
 - イ. ルールと手順の明確化
 - ロ. ボーナスペナルティによる指導
 - ハ. 演習「手順書改善ケーススタディ」
 - (4) 定着の手法
 - イ. 5S委員会の運営
 - ロ. 赤札と黄色札による意識付け、不要物の洗い出し
 - ハ. 5SのPDCAサイクルを回す
5. 総合演習
 - (1) ケーススタディ
 - イ. 5S実践
6. まとめ

※外部講師担当予定

実施日 407-1 5/16(木)~5/17(金)

定員 20名 受講料(税込) 8,500円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 筆記用具

使用機器 ホワイトボード、テキスト

前提スキル 職場で業務改善の指導的立場の方、またはこれから指導的役割を目指す方向けのコースです。

New

408 現場の安全確保(5S)と生産性向上(5S実践力強化)

Check!



生産現場における教育訓練の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた現場の問題把握・改善技法及び後輩育成のための指導技法を習得する。

1. 現場改善の課題
 - (1) 現場の安全と生産性と5S
 - (2) 現場の5Sが定着しない理由
2. 現場改善のポイント
 - (1) 改善推進の基礎固め
 - (2) 5S推進の具体的ポイント
 - (3) 組織の財産として伝承するポイント
3. 総合演習
 - (1) ケース事例読み込み
 - (2) 現状把握、現場改善目標設定、現場改善提案

※外部講師担当予定

実施日 408-1 '25/1/9(木)~1/10(金)

定員 20名 受講料(税込) 9,000円

日数 2日間 時間数 12時間

持参品 筆記用具

使用機器 ホワイトボード、テキスト

前提スキル 本コース受講前に、「現場の問題解決実践(5Sの実践と定着)」の受講をお勧めします。

その他 ◆マイコン◆

240 オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術(Python編)

Check!



IoT開発で採用されることが多くなったコンピュータ言語Pythonを体験してみたい方向けです。

1. 実行環境と開発環境の知識
 - (1) 組込みシステムにおけるプログラム開発
 - (2) オブジェクト指向言語の概要と組込み開発について
 - (3) 統合開発環境の知識と特徴
2. 開発環境構築実習
 - (1) 統合開発環境の導入
 - (2) 統合開発環境の各種機能と環境設定
3. オブジェクト指向プログラム開発技術
 - (1) オブジェクト指向の概念と特徴
 - (2) オブジェクト指向言語によるプログラム開発
イ. クラス設計とプログラミング実習
ロ. 組込みライブラリ
4. アプリ開発実習
5. 確認・評価

実施日

240-1 7/24(水)~7/25(木)
240-2 11/13(水)~11/14(木)
240-3 '25/3/18(水)~3/19(木)

定員

10名

受講料
(税込)

13,500円

日数

2日間

時間数

12時間

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、Python開発環境

※外部講師担当予定

前提スキル

言語初心者の方でも大丈夫ですが、基礎的なプログラミング学習経験があればより望ましいです。

ポリテクセンター栃木



ハロートレーニング
— 急がば学べ —

ポリテクセンター栃木（栃木職業能力開発促進センター）ホームページでも能力開発セミナー各コースについてご覧いただけます。
<https://www3.jeed.go.jp/tochigi/poly/>

設計・開発

機械加工

測定評価

シーケンス制御

マイコン制御

電子回路設計

実装技術

ビル設備

住・宅

保全・管理・教育

その他

その他 ◆その他（組み込みシステム開発）◆

241 Webを活用した生産支援システム構築技術(Python編)

Check!



生産現場における各種データ収集と共有の自動化による生産性の向上を目指して、Python言語によるWebアプリケーション開発手法を習得します。

- 1.Webの仕組みとDjangoフレームワークについて
 - (1)フレームワーク概要
 - (2)Webの仕組みとリクエスト・レスポンス
- 2.Webプログラミング
 - (1)仮想環境
 - (2)サンプルプロジェクトの作成
- 3.データベース活用
 - (1)CRUD概要
 - (2)データベース概要
- 4.PythonによるWebシステム構築実習
 - (1)各種ビューの作成
 - (2)ログイン・ログアウト機能実装
 - (3)データ登録機能実装

実施日

241-1 7/29(月)~7/31(水)
241-2 '25/3/25(火)~3/27(木)

定員

10名

受講料
(税込)

15,500円

日数

3日間

時間数

18時間

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、Python開発環境

※外部講師担当予定

前提スキル

前提スキル等は特にありませんが、パソコン操作ができる方。(キーボード入力作業を含む)

その他 ◆その他（組み込みシステム開発）◆

New

242 Webを活用した生産支援システム構築技術(Spring編)

Check!



生産現場における各種データ収集と共有の自動化による生産性の向上を目指して、Java言語によるWebアプリケーション開発手法を習得します。

- 1.テンプレートエンジンについて
 - (1)テンプレートエンジン活用
 - (2)コントローラとビュー
- 2.リクエストパラメータについて
 - (1)@RequestParamアノテーションとFormクラス
- 3.バリデーション機能
 - (1)入力データのチェック
- 4.データベースについて
 - (1)データベース接続処理
 - (2)データベース操作処理
- 5.サービス処理について
 - (1)サービス処理作成
- 6.アプリケーション層について
 - (1)アプリケーション層作成

実施日

242-1 10/8(火)~10/9(水)

定員

8名

受講料
(税込)

11,500円

日数

2日間

時間数

12時間

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、Java開発環境

前提スキル

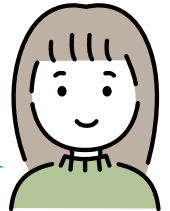
Java言語によるサーバサイドプログラミング(サーブレット・JSPプログラミング)を修得している事が前提となります。

受講者の声



オーダーコース 切削加工を考慮した機械設計製図

- ・今後、製図を書く機会が増える為、大変役に立った。
- ・今まで何となく分かっていたつもりだった図面の表記や理解していなかった事を知る事が出来た。自分で製図する際にルールを知る事が出来たため非常に役に立った。
- ・取引先とのやり取りで図面を読んだり、簡単なものなら作成したりできるようになった。



オーダーコース 切削加工の理論と実際

- ・新しい経験ができて良かった。
- ・今まででやってきていなかったことができるようになった。
- ・手仕上げの基礎的なことを細かく学び、技能が深まった。

FS フライス盤加工技術セットコース

- ・荒加工のチャッキングはできる限り強くすると習ったが、強すぎると材料に歪みが生じ、精度に影響が出るという事が体感できた。今後はこの経験を生かしたい。
- ・人に教えてもらう機会がない。今回良い経験になった。
- ・我々の会社ではフライス盤での加工の際、正面フライスを使ったことがなかったため。
- ・今まで習った方法を別の加工の手順を学べた。
- ・座学にて理屈を学べた。



200 有接点シーケンス制御の実践技術

- ・内作をする際に今までは有接点、回路が分からなく作成できないものがあったが、それが作れるようになったため。
- ・今まで有接点を使用してこなかったため。
- ・今まで原理を理解せずに回路の配線に触れる機会があったが、この講習を受けて多少なりとも理解が深まったと思う。自分で職場の設備にもっと関わろうという気持ちを持った。
- ・調べても分からなかった回路について基礎から学ぶ事が出来た。

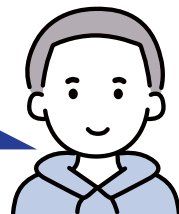
202 PLCプログラミング技術(ビット命令編)

- ・業務上習得する技能の基礎固めができた。
- ・PLCの操作を身に付けられた。
- ・シーケンサの実務に応用できる内容だと思った。



220 トランジスタ回路の設計・評価技術 (アナログ回路 トランジスタ編)

- ・業務を行う中でトランジスタ回路に関ることがあり、評価や作成、部品の知識が深まり、業務で役立てることができると考えられたため。
- ・P型やN型の言葉は知っていたが、深く掘り下げられて良かった。
- ・ボードに実際に設置することで理解が深まったと思う。
- ・仕事で電気関係の業務を行っているが、未経験であったため、今回の講義を経て電気技術の素表が身についたと感じたため。



303、304 BIMを用いた建築設計技術

- ・直近でBIMの知識が必要のため、大変助かります。また、今後は自身で技術を深めていきたい。
- ・基本的なBIMの操作方法が身に付いた。
- ・BIMに関する操作技術の向上。

308 建設業の安全衛生管理

- ・コスモスを認証取得したが課題があった為解決の糸口が見付けられた。
- ・コンパクトコスモスを取得し、労働安全衛生完治システムは構築したが、今後の課題として協力会社を招集した安全大会の実施の必要性が分かった。内容は基本的な事が多かったが、自信の知識の再確認と分かりやすい資料を頂き、社内の指導に役だてられるため大変良かった。
- ・安全衛生協議会及び安全大会等、今後の協力業者への対応にヒントを得られた。



380 高圧電気設備の保守点検技術

- ・業者まかせにしていた作業について自分で体験できたことで、いくらかでも作業内容、方法、手順について把握できるようになった。
- ・実際の機器にふれられて大変参考になりました。
- ・セミナーを受講しなければ分からない知識・実技であった為。

403 QC7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証

- ・今まで製造現場での仕事が多かったがなぜなぜ等を行いだしたのでその糧となる。
- ・社内でQC活動をしているので役に立った。
- ・管理図等新しい数値化の方法を知ることが出来た。
- ・2日間なのでゆっくりと受講ができたから。
- ・それぞれのグラフについて細かく教えてくださり、とても身についたため。



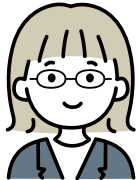
406 製造現場における安全衛生活動の指導法

- ・4Mに分類する事により原因の追究が簡単にでき理解が深まった。
- ・リスクアセスメントの手法で現場改善が実施できる。
- ・知らなかった知識を得られました。他者の考え方を聞くことができ勉強になった。
- ・他の業種の方々と意見交換することにより自分になかった考えを知る事ができた。
- ・指導方法が具体的に理解できた。
- ・リスクアセスメントのやり方を学び生かせると思った。



オーダーコース 切削加工を考慮した機械設計製図

・加工図面には加工する為の寸法の入れ方がありますが、寸法の記入方法を理解することで加工機の特性も理解できるので、大変有意義です。



119 工具研削実践技術

・作業する際の技術向上につながっていた。作業を効率的に行えるようになった。以前は主流であった工具の社内製作の技術の継承の問題の解決。

SS 旋盤加工技術セットコース

・コストダウンやVA/VE提案。
・デザインレビューの強化・設計者による加工技術習得。
・設計者による加工技術習得。



123 NC旋盤プログラミング技術

・NC旋盤への理解が深まった。
・無駄のない設計が可能となった。
・設計者における加工技術の習得ができた。

132 半自動アーク溶接技能クリニック(板材編)

・溶接ビードに顧客からの改善を要求されていたが、受講により品質が改善されお客様の要求レベルに達する事ができた。

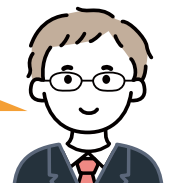


オーダーコース 切削加工の理論と実際

・初めて触れる機械や溶接機により、物を作る事の楽しさや難しさを知る事、教えていただける事は重要かつ幸せな事です。新入社員の段階で大変有難いと思います。

403 QC7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証

・知識の向上により将来的に役立つ
・社内の全体教育に共有した
・手法取得による改善(品質改善)



406 製造現場における安全衛生活動の指導法

・安全教育のレベルアップにつながった。

エス・トータルサポート株式会社 様

<https://www.sts-japan.co.jp/>

設立日 1995(平成7)年12月12日

事業内容 受託ソフトウェア開発／業種ソリューション開発、システムマイグレーション、EV(電気自動車)向け組み込みソフトウェア開発、HHT(ハンドヘルドターミナル)アプリ開発、システム基盤構築、システム運用・保守、エンジニア・スペシャリストスタッフ派遣等

受講コース名 令和5(2023)年

表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング、現場を動かすプレゼンテーションテクニック、組み込みデータベースシステム開発技術、製造業におけるデータベース活用技術、組み込み技術者のためのプログラミング、組み込みシステムにおけるプログラム開発技術、組み込みシステム開発向けコーディング技術、オブジェクト指向による組み込みプログラム開発技術(Java編) Webを活用した生産支援システム構築技術、Javaによる組み込みシステムのサーバサイドプログラム開発、組み込みソフトウェア開発者のためのテスト技法、システム開発におけるセキュリティ対策技術

能力開発セミナーを受講していかがでしたか

受講者の声

エス・トータルサポート(株)
S.T氏



受講コース

表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング、現場を動かすプレゼンテーションテクニック他

Q 今のお仕事の内容は何ですか？

A. 自動車メーカーの基幹システムの改修を行っております。現在は単体テストを担当しております。

Q 受講していかがでしたか

A. OfficeやSQL、Javaを基礎からテキストベースでご教示頂けたため、とてもわかりやすかったです。

Q 仕事でどのように活用できそうですか

A. 今回はJavaを学びましたが、プログラミングの考え方はどの言語でも活用できると思います。

Q 今後の目標はありますか

A. より多くの実務経験を積み、様々なプロジェクトを任せて頂けるようになりますようにです。

受講者の声

エス・トータルサポート(株)
K.K氏



受講コース

表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング、現場を動かすプレゼンテーションテクニック他

Q 今のお仕事の内容は何ですか？

A. システムの改修作業を行っており、現在は結合テストを行っています。

Q 受講していかがでしたか

A. JavaとSQLについて考え方や基礎知識や学習の仕方を短期間で学ぶことができました。

Q 仕事でどのように活用できそうですか

A. 言語が異なっても考え方は似ているところがあるため、新しい言語を学ぶ際にも活用できると思っています。

Q 今後の目標はありますか

A. できる言語を増やし、プログラマー・システムエンジニアとして自信を持てるようになりますようにです。

受講者の声

エス・トータルサポート(株)
K.H氏



受講コース

表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング、現場を動かすプレゼンテーションテクニック他

Q 今のお仕事の内容は何ですか？

A. 自治体向けシステムのテストを担当しています。

Q 受講していかがでしたか

A. 挫折することなく、プログラミングの基礎知識を身に付けることができました。

Q 仕事でどのように活用できそうですか

A. プログラム言語のほか、「言語習得の方法」を身に付けることができました。そのため、研修後も自ら学び、業務の幅を広げることにも活用できると思います。

Q 今後の目標はありますか

A. 実務での経験と自己啓発を通して、より高度な技術を身に付け、頼りにされる人材になりたいです。

受講者の声

エス・トータルサポート(株)
H.O氏

受講コース

表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング、現場を動かすプレゼンテーションテクニック他

Q 今のお仕事の内容は何ですか？

A. 主に、自治体向けシステムの運用保守を行っています。

Q 受講していかがでしたか

A. 私は文系であったため、用語や考え方について丁寧に教えていただいたことが大変有意義であったと思います。

Q 仕事でどのように活用できそうですか

A. Excelを多用するため、基礎から教えていただいたことが実際に業務で役立っております。

Q 今後の目標はありますか

A. お客様に信頼を置いていただけるようなSEになりたいと思っております。

能力開発セミナーをご利用いただいた企業の声

教育計画に基づき、ステップアップを図っている。

Q 能力開発セミナーを利用するきっかけと、利用してみた感想はいかがですか？

A. 基礎力の定着・向上を目的として、新人研修の一環として利用しています。

Q セミナーを受講後に受講者に変化はありましたか？

A. 良くも悪くも己を知り、弱点の克服やさらなる追求等、成長に向けた行動がより強固になったと感じます。

Q 今後の抱負を聞かせてください。

A. この研修を始めの一步として、社員一人一人が輝く職場作りをしていきたいと思っております。

Q 能力開発セミナーを利用してみたい感想はいかがですか？

A. 知識の習得だけでなく、グループ制作では協力して問題解決にもチャレンジしています。

Q ポリテクセンターとしてセミナーコースへの要望はありますか？

A. すでに様々なコースが展開されており、今後も継続されることを期待します。

エス・トータルサポート(株) 代表取締役社長
佐藤 功 様



よくある質問Q&A

受講申し込みの前に、**必ずご一読**
くださいますようお願いいたします。



Q 受講申し込みはどのようにしたらよいですか？

A 「能力開発セミナー受講申込書」に必要事項をご記入のうえ、セミナー開講日の概ね3週間前までに電子メール (tochigi-poly04@jeed.go.jp) または F A X (028-622-9498) にお申込みください。

なお、お申込み多数であり定員を満した場合は、期限内にお申込みをされた場合であっても受講をお断りすることがございます。

※受講申込書は、セミナー開講当日まで必ず保管していただくようお願いいたします。

※定員に満たないコースについては、開講日前3週間を過ぎてもお申込みが可能な場合がございます。詳細はお電話 (028-621-0581) でお問い合わせください。

Q 申込む場合の条件はありますか？

A 各コースに関する基本的知識を有する方としております。
セミナーガイドまたはホームページでご確認ください。

Q 受講申込書になぜ生年月日を記入する必要があるのですか？

A 所定の要件を満たした方に訓練の修了証書を発行しており、そちらに記載するためです。

Q 申込んだコースが中止・変更になることはありますか？

A お申込み数が一定数に満たない場合は、コースを中止することがあります。

また、当方の都合により、やむをえず日程の変更または中止となることもございますのでご了承ください。

なお、当方の都合により中止となったコースについては、受講料は全額返金とさせていただきます。

Q 申込んだ後で、受講者を変更することはできますか？

A 受講申込みをしているコースの受講者を変更する場合は、原則として当該コース開講前日 (その日が土日祝日にあたる場合は、その前の平日) までに電話にてご連絡いただき、併せて変更内容を電子メールまたは F A X でご連絡ください。

F A X の場合、当初 F A X していただいた受講申込書の写しに、変更となる内容 (変更後の受講者氏名・生年月日等) を追記して送付していただいても結構です。

変更内容の確認については F A X を受け取り後、センターから折り返し確認の電話をさせていただきます。

Q 申込んだコースをキャンセルしたいのですがどのようにしたらよいですか？

A 受講申込みをしているコースをキャンセルして取り消す場合は、当該コース開講14日前 (その日が土日祝日にあたる場合は、その前の平日) までに電話にてご連絡いただき、併せてキャンセル内容を電子メールまたは F A X でご連絡ください。

F A Xの場合、当初F A Xしていただいた受講申込書の写しに、キャンセルとなる内容（キャンセルする受講者氏名等）を追記して送付していただいても結構です。

キャンセル内容の確認についてはF A Xを受け取り後、センターから折り返し確認の電話をさせていただきます。

期限を過ぎたキャンセルについては、受講料を全額ご負担いただくこととなります。（ただし、当センターの都合により中止とした場合についてはこの限りではありません。）

Q 申込んだコースを変更したいのですが？

A 受講申込みをしているコースを変更する場合は、一度そのコースをキャンセルしていただき、新規に申し込んでいただく必要があります。

キャンセルの場合の扱いについては、上記をご参照ください。

Q 受講料の支払い時期はいつまでですか？

A セミナー開始日2週間前を目途に送付する案内文に、振込先と振込期日を記載しております。案内文に則って、お振込みをお願いします。なお、センターで入金を確認した時点で申込み手続き完了となります。

Q 受講料は消費税を含んだ金額ですか？

A 消費税を含んだ金額となっています。

Q セミナーの実施時間を教えてください。

A 土日祝日含め、基本的に9:30～16:15（昼休憩12:00～12:45）となっていますが、総訓練時間15時間（2日間）のコースについては、9:00～17:15（昼休憩12:00～12:45）となっています。他にも多少変則的なコースもありますが、詳しくはポリテクセンター栃木ホームページ「訓練分類別コース一覧」の各セミナー詳細からご確認ください。

また、事前にお送りする受講票にも記載がございますので、併せてご確認ください。

なお、オーダーメイドセミナーについては、個別に相談させていただくことも可能です。

Q 申込んだコースを欠席する場合はどのようにしたらよいですか？

A お電話（028-621-0581）にてご連絡ください。

Q 受講する際の服装・持ち物はどのようにすればよいですか？

A 服装について特に決まりはございませんが、当日の持ち物として作業服等が必要となるセミナーもありますので、セミナーパンフレット、ホームページ等でご確認ください。

事前にお送りする受講票に当日の持ち物の記載がありますので、併せてご確認ください。

Q セミナー会場(教室)への案内はありますか？

A 当センターの本館1階玄関ホール入口の総合案内(掲示板)で、場所の案内をいたします。事前にお送りする受講票にも場所は記載されておりますが、急遽会場(教室)が変更となる場合もございますので、当日、総合案内(掲示板)で必ずご確認くださいようお願いいたします。

ポリテクセンター栃木の各棟及び教室の配置図は、P.83施設案内図をご参照ください。

Q 駐車場はありますか？

A 当センターにはセミナー受講者用の無料駐車場があります。請求書及び受講票をお送りする際にも文書にてご案内させていただきます。

なお、駐車スペースに限りがありますので無理のない範囲で公共交通機関のご利用をお願いいたします。駐車場内での事故等については、当センターでは責任を負いかねますのでご了承ください。

Q 昼食の販売はありますか？

A 土日祝日は行っておりませんが、平日は販売がございます。

第二訓練生ホールでは、8:40～9:10までの時間でお弁当の食券を現金にて購入できます。11:50～12:20までに食券と引き換えに受け取ってください。弁当の容器は必ず第二訓練生ホールに13:00までにご返却ください。

第二訓練生ホールの場所については、P.83施設案内図をご参照ください。

昼食時のゴミは各自お持ち帰りいただくようお願いいたします。

Q セミナーの修了証書の交付条件はありますか？

A 修了証書は、出席時間が12時間以上かつ訓練時間の80%以上を満たしている場合に交付します。なお、修了証書の再発行は出来ませんのでご了承ください。

お問い合わせ先



ポリテクセンター栃木

訓練課在職者係

TEL 028-621-0581

FAX 028-622-9498



<https://www3.jeed.go.jp/tochigi/poly/>



受講申込は E-mail ⇒ tochigi-poly04@jeed.go.jp または
 FAX ⇒ 028-622-9498 まで

能力開発セミナー受講申込書

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

栃木支部 栃木職業能力開発促進センター所長 殿

申込日 令和 年 月 日

次のセミナーについて、受講内容と受講要件(ある場合のみ)を確認の上、申込みます。

コース番号	コース名	開講日	～
-------	------	-----	---

受講者基本情報				
ふりがな 氏名	性別	携帯電話番号※1 生年月日【西暦】	雇用形態※2	経験・技能等※3
	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日	<input type="checkbox"/> 1.正社員 <input type="checkbox"/> 2.非正規雇用 <input type="checkbox"/> 3.その他(自営業等)	
	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日	<input type="checkbox"/> 1.正社員 <input type="checkbox"/> 2.非正規雇用 <input type="checkbox"/> 3.その他(自営業等)	
	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日	<input type="checkbox"/> 1.正社員 <input type="checkbox"/> 2.非正規雇用 <input type="checkbox"/> 3.その他(自営業等)	
	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日	<input type="checkbox"/> 1.正社員 <input type="checkbox"/> 2.非正規雇用 <input type="checkbox"/> 3.その他(自営業等)	
	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日	<input type="checkbox"/> 1.正社員 <input type="checkbox"/> 2.非正規雇用 <input type="checkbox"/> 3.その他(自営業等)	
	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日	<input type="checkbox"/> 1.正社員 <input type="checkbox"/> 2.非正規雇用 <input type="checkbox"/> 3.その他(自営業等)	

※1 台風の接近や地震の発生等、急遽セミナーが中止となった場合に受講者本人へ緊急に連絡する際のみ使用します(それ以外の使用はありません)。

※2 非正規雇用には、パート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。

※3 コースを進める上での参考とさせていただきますため、今回受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入ください。

受講区分(受講票・請求書の送付先)			
会社指示による受講		個人での自己受講	
受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。			
事業所等名		住所	
所属団体名		TEL	
申込 担当者	部署名 氏名	FAX	
業種		E-mail	
会社規模		〒	
<input type="checkbox"/> A: 1人~29人 <input type="checkbox"/> B: 30人~99人 <input type="checkbox"/> C: 100人~299人 <input type="checkbox"/> D: 300人~499人 <input type="checkbox"/> E: 500人~999人 <input type="checkbox"/> F: 1000人以上			
所在地			
TEL		FAX	
E-mail			

自動車でお越しの方へ

自動車でお越しになる場合は、右欄に当センター駐車場に駐車する台数をご記入ください。
 当センター実習場建替工事のため、駐車場が不足しております。
 無理のない範囲で公共交通機関のご利用をお願いいたします。

台

■当機構の保有個人情報保護方針、利用目的

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
 ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。受講区分欄の「会社指示による受講」を選択された方は、申込担当者様あてに送付いたします。



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
 栃木支部 栃木職業能力開発促進センター
ポリテクセンター栃木

〒320-0072
栃木県宇都宮市若草1丁目4番23号
TEL 028-621-0581

この受講申込書は当センターホームページからダウンロードできます。



受講申込は E-mail ⇒ tochigi-poly04@jeed.go.jp または FAX ⇒ **028-622-9498** まで

能力開発セミナー受講申込書

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
 栃木支部 栃木職業能力開発促進センター所長 殿

申込日 令和 6 年 4 月 1 日

次のセミナーについて、受講内容と受講要件(ある場合のみ)を確認の上、申込みます。

コース番号	200-X	コース名	有接点シーケンス制御の実践技術	開講日	6月1日 ~ 6月2日
-------	-------	------	-----------------	-----	-------------

受講者基本情報			
ふりがな 氏名	性別	携帯電話番号※1 生年月日【西暦】	雇用形態※2 経験・技能等※3
とちぎ たらう		090-XXXXX-XXXXX	<input checked="" type="checkbox"/> 1.正社員 ●●業務に10年従事
栃木 太郎	<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	1988 3 9 年 月 日	<input type="checkbox"/> 2.非正規雇用 <input type="checkbox"/> 3.その他(自営業等)
うつのみや はなこ		080-XXXXX-XXXXX	<input checked="" type="checkbox"/> 1.正社員 ●●業務に2年従事
宇都宮 花子	<input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女	1999 2 7 年 月 日	<input checked="" type="checkbox"/> 2.非正規雇用 <input type="checkbox"/> 3.その他(自営業等)
	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日	<input type="checkbox"/> 1.正社員 <input type="checkbox"/> 2.非正規雇用 <input type="checkbox"/> 3.その他(自営業等)
	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日	<input type="checkbox"/> 1.正社員 <input type="checkbox"/> 2.非正規雇用 <input type="checkbox"/> 3.その他(自営業等)
	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年 月 日	<input type="checkbox"/> 1.正社員 <input type="checkbox"/> 2.非正規雇用 <input type="checkbox"/> 3.その他(自営業等)

※1 台風の接近や地震の発生等、急遽セミナーが中止となった場合に受講者本人へ緊急に連絡する際のみ使用します(それ以外の使用はありません)。
 ※2 非正規雇用には、パート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
 ※3 コースを進める上での参考とさせていただきますため、今回受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入ください。

会社指示による受講		個人での自己受講	
<small>受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。</small>		<small>〒</small>	
事業所等名	株式会社 ポリテクサービス	住所	
所属団体名	栃木県●●工業会	TEL	
申込担当者	部署名 総務部人事課	FAX	
	氏名 下野 一郎	E-mail	
業種	電子部品製造業		
会社規模	<input type="checkbox"/> A: 1人~29人 <input checked="" type="checkbox"/> B: 30人~99人 <input type="checkbox"/> C: 100人~299人 <input type="checkbox"/> D: 300人~499人 <input type="checkbox"/> E: 500人~999人 <input type="checkbox"/> F: 1000人以上		
所在地	〒 320-0072 栃木県宇都宮市若草X-X-X X		
TEL	028-621-X X X X	FAX	028-622-X X X X
E-mail	jinji●●@poly.co.jp		

自動車でお越しの方へ 自動車でお越しになる場合は、右欄に当センター駐車場に駐車する台数をご記入ください。当センター実習場建替工事のため、駐車場が不足しております。無理のない範囲で公共交通機関のご利用をお願いいたします。

1 台

■当機構の保有個人情報保護方針、利用目的
 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。受講区分欄の「会社指示による受講」を選択された方は、申込担当者様あてに送付いたします。

 <p>独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 栃木支部 栃木職業能力開発促進センター ポリテクセンター栃木</p>	<p>〒320-0072 栃木県宇都宮市若草1丁目4番23号 TEL 028-621-0581</p>	<p>この受講申込書は当センターホームページからダウンロードできます。</p> 
--	---	---

インフォメーション Information



ポリテクセンター栃木に関連する情報をご案内します

- ・ 社員の採用を検討している事業主の皆様へ
- ・ 生産性向上支援訓練のご案内
- ・ 高齢・障害者業務課のご案内
- ・ 高度ポリテクセンターのご案内
- ・ 全国の能力開発セミナー検索方法
- ・ 関東ブロック施設案内
- ・ 国の助成金制度のご案内
- ・ 栃木県立産業技術専門校におけるスキルアップ講習のご案内



社員の採用を検討している事業主の皆様へ

ポリテクセンター栃木では、ものづくりに関連した**職業訓練**を実施しています。現場に即した**基礎的な知識と実習で技能**を習得している当センター訓練生の採用を是非ご検討ください。

例えば! 「この人!」と思う訓練生は 「人材リクエスト」

6ヶ月(一部4ヶ月)または7ヶ月訓練の4ヶ月目を迎える訓練生のプロフィールを毎月1日をめどに、ホームページに「人材情報」として掲載しています。(印刷した冊子は、栃木県内の公共職業安定所に配布しています。)

企業が「リクエスト」して訓練生を指名し、直接求人票を渡すことができます。
(公共職業安定所の求人票をお願いしております。)

指名のあった訓練生の応募の意思をポリテクセンター栃木で確認し、結果をリクエスト企業にお伝えするという、採用の「橋渡し」を行います。

※ホームページの「事業主の皆様へ」「訓練受講者及び修了者への求人」からリクエスト用紙をダウンロードしていただくようお願いいたします。

※詳細はホームページをご覧くださいか、下記連絡先までお問い合わせください。

ポリテクセンター栃木



または! 訓練生を対象に

「企業説明会」を開催!

訓練生を対象にポリテクセンター栃木で「企業説明会」を開催してみませんか! 企業と訓練生の直接の「出会いの場」を提供します。

※詳細については、下記にお問い合わせください。

※ポリテクセンター栃木の会議室の空き状況によっては、当センターで実施できないこともあります。あらかじめご了承ください。

※企業に訓練生が訪問する形で説明会を実施することも可能です。

訓練生を採用してみませんか?

ポリテクセンター栃木で公共職業訓練を受講している

訓練生を指名しない
「公募」という形での
募集も可能です!!



ポリテクセンター栃木

訓練課 離職者係 就職支援担当

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構栃木支部 栃木県宇都宮市若草 1-4-23

TEL 028-621-0689

FAX 028-622-9498





生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上支援訓練とは、企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。全国のポリテクセンター等に設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的知見を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

生産性向上支援訓練 3つのポイント

1 企業の生産性向上に効果的な知識や技法を習得！

- ・生産管理、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムを用意（全131コース（'23.11月現在））

2 企業のニーズに合わせたオーダーメイドのコース設定が可能！

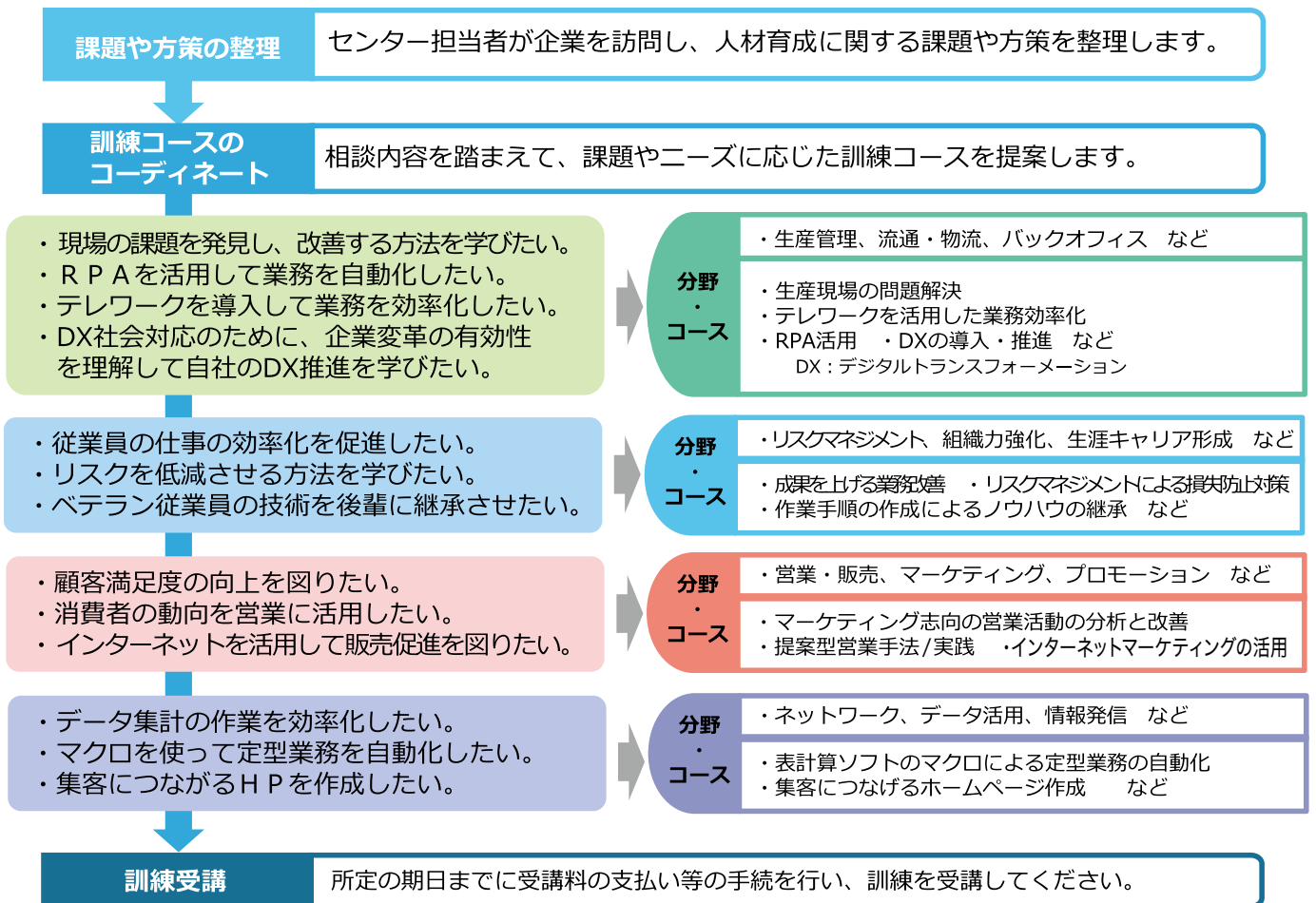
- ・自社会議室等を訓練会場とすることが可能（企業に講師を派遣します）
 - ・実施日時や訓練時間も調整可能（訓練時間は4～30時間で設定）
- ※従業員1人からでも利用できるオープンコースも実施しています



3 受講しやすい料金設定！

- ・受講料は1人あたり2,200円～6,600円（税込）
- ・条件を満たす場合は国の助成金（人材開発支援助成金）を利用可能

訓練受講までの流れ



※予算に限りがありますので、ご希望に添えない場合があります。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。



生産性向上人材育成支援センターでは、

中小企業等におけるDX人材の育成

を支援しています！

現在、社会環境・ビジネス環境の変化に対応すべく、企業・組織を中心に社会全体のDX（デジタルトランスフォーメーション）が進んでいます。これに対応するためには、年代・職種を問わず、働き手一人ひとりがDXに参画し、デジタル技術を活用したプロセスの改善や、デジタルを活用しやすい組織づくりに取り組むことが重要となります。

生産性向上人材育成支援センターでは、生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から「DX対応コース」を選定し、中小企業・事業主団体等の“DX人材の育成”を支援しています。



DX対応コースの概要

生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から、訓練目的・分野による分類とは別に、DX推進に向けたスタートコース、ネットワーク・セキュリティに関するコースを選定し、**共通領域**として設定しました。また、DXに向けた**3つの課題**を設定し、それぞれの課題解決に対応したコースを選定・分類しています。

共通領域	DX推進に向けたスタートコース
	⇒DXの推進に必要な知識や導入事例を知りたい
	ネットワーク・セキュリティに関するコース
	⇒社内ネットワークのセキュリティ対策を進めたい

3つの課題	デジタル化と新たな生活様式の課題への対応
	⇒自社業務に適切なITツールを選定したい ⇒POSシステムを活用して売上げを伸ばしたい
	業務プロセスの課題への対応
	⇒システム化に伴うコストの考え方を知りたい ⇒物流全体の最適化・効率化を実現したい
	ビジネスモデルの課題への対応
	⇒IoTによるビジネス環境の変化や動向を知りたい ⇒システム開発に必要な発注者の役割を理解したい

- 受講対象者
事業主の指示を受けた在職者の方
- 訓練日数・時間
おおむね1～5日
(4～30時間)
- 受講料(1人あたり・税込)
2,200円～6,600円
- 訓練会場
自社会議室等を訓練会場とすることが可能です(講師を派遣します)

※DX対応コースは、次ページをご覧ください。



訓練受講までの流れ

- 課題や方策の整理** センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。
- 訓練コースのコーディネート** 相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。
- 訓練受講** 所定の期日までに受講料の支払い等の手続を行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

らしく、はたらく、
ともに



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構栃木支部

ポリテクセンター栃木 生産性向上人材育成支援センター

TEL : 028-346-3700 FAX : 028-622-9498

ポリテク栃木_生産性

検索

(「」はスペース)「生産性向上支援訓練」を選択してください。





生産性向上支援訓練コース一覧 (全131コース)

目的	分野	ねらい	コース名	推奨対象者	日程設定		
					6時間コース	12時間コース	
A 生産・業務プロセスの改善	生産管理	生産・開発計画を学びたい	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上	初任層	基本項目 + 演習	基本項目 + 演習 + 応用・実践要素	
			生産性分析と向上	中堅層			
			生産現場の問題解決	中堅層			
		工程管理を学びたい	生産性向上のための課題とラインバランシング	中堅層			
			生産計画と工程管理	中堅層			
		管理手法を学びたい	サービス業におけるI E活用	管理者層			
			製造分野におけるDX推進 New DX	中堅、管理者層			
	原価管理を学びたい	原価管理とコストダウン	管理者層				
	製品出荷・在庫管理を学びたい	在庫管理システムの導入	DX	中堅層			
		購買・仕入れのコスト削減	中堅層				
	品質保証・管理手法を学びたい	POSシステムの活用技術	DX	中堅層			
		品質管理基本	初任層				
	品質保証	品質管理実践	中堅層				
		サービスマネジメントによる品質改善と向上	中堅層				
	流通・物流	流通・物流を学びたい	3PLとSCM	DX			初任層
			物流のIT化	DX			初任層
			流通システム設計	DX			中堅層
			物流システム設計	DX			中堅層
			卸売業・サービス業の販売戦略	DX			中堅層
	クラウド・IoT導入を学びたい	SCMの現状と将来展望	DX	管理者層			
		クラウド活用入門	DX	中堅層			
		IoT活用によるビジネス展開	DX	中堅層			
		クラウドを活用したシステム導入	DX	中堅層			
		IoT導入に係る情報セキュリティ	DX	中堅層			
		クラウドを活用した情報共有能力の拡充	DX	中堅層			
		導入コストを抑えるクラウド会計・モバイルPOSレジ活用	DX	中堅、管理者層			
		テレワークを活用した業務効率化	DX	中堅層			
		テレワーク活用	DX	初任層			
		経理業務の効率化につながるDXの実践 New DX	中堅、管理者層				
	バックオフィス	システム導入を学びたい	ITツールを活用した業務改善	DX			中堅層
データ活用で進める業務連携			DX	中堅、管理者層			
失敗しない社内システム導入			DX	中堅、管理者層			
企業内でIT活用を推進するために必要な技術理解			DX	中堅、管理者層			
企業内でIT活用を推進するために必要なマネジメント			DX	中堅、管理者層			
DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入			DX	中堅、管理者層			
新技術活用を学びたい	ベンダーマネジメント力の向上	DX	中堅層				
	IT新技術による業務改善	DX	中堅、管理者層				
	AI（人工知能）活用	DX	中堅、管理者層				
	ビッグデータ活用	DX	中堅、管理者層				
	RPAを活用した業務効率化・コスト削減	DX	中堅層				
	RPA活用	DX	初任、中堅層				
	DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	DX	管理者層				
財務管理を学びたい	データサイエンス入門	DX	中堅層				
B 横断的課題	経営戦略を学びたい	GX（グリーントランスフォーメーション）の推進 New DX	中堅、管理者層				
		IoTを活用したビジネスモデル	DX	管理者層			
		ダイバーシティ・マネジメントの推進	管理者層				
	リスクマネジメントを学びたい	ビジネスとSDGs（持続可能な開発目標）の融合	DX	中堅、管理者層			
		事故をなくす安全衛生活動	中堅層				
		個人情報保護と情報管理	管理者層				
		高齢労働者のための安心・安全な職場環境の構築	管理者層				
		リスクマネジメントによる損失防止対策	管理者層				
		災害時のリスク管理と事業継続計画	管理者層				
	ナレッジマネジメントを学びたい	eビジネスにおけるリーガルリスク	DX	管理者層			
		ネット炎上時のトラブル対応	DX	管理者層			
	組織力強化を学びたい	ナレッジマネジメント	管理者層				
		知的財産権トラブルへの対応（1）	管理者層				
知的財産権トラブルへの対応（2）		管理者層					
現場社員のための組織行動力向上		初任層					
業務効率向上のための時間管理		中堅層					
顧客満足度向上のための組織マネジメント		中堅層					
企画力向上のための論理的思考法		中堅層					
成果を上げる業務改善	中堅層						
組織力強化を学びたい	組織力強化のための管理	管理者層					
	職場のリーダーに求められる統率力の向上	管理者層					
	管理者のための問題解決力向上	管理者層					
		管理者層					



目的	分野	ねらい	コース名	推奨対象者	日程設定	
					6時間コース	12時間コース
B 横断的課題	組織マネジメント	組織力強化を学びたい	プロジェクト管理技法の向上	管理者層	基本 項目 + 演習	基本 項目 + 演習 + 応用 ・ 実践 要素
			プロジェクトマネジメントにおけるリスク管理	管理者層		
			継続雇用者のキャリア形成と管理者の役割	管理者層		
			従業員満足度の向上	管理者層		
			ストレスチェック制度を用いた職場環境改善と生産性向上	管理者層		
			ムダを発見するための業務プロセスの見える化と業務改善	中堅・管理者層		
			テレワーク業務における労務管理 DX	中堅・管理者層		
			DX人材育成の進め方 DX	中堅・管理者層		
	生涯キャリア形成（ミドルシニアコース）	役割の変化への対応を学びたい	物流現場のリーダー育成	中堅層	基本 項目 + 演習	基本 項目 + 演習 + 応用 ・ 実践 要素
			ファシリテーションを活用した合意形成の効率化	中堅・管理者層		
			中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成	中高年齢層		
			チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割	中高年齢層		
			後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割	中高年齢層		
			中堅・ベテラン従業員による組織の活性化のための相談技法	中高年齢層		
		技能・ノウハウの継承を学びたい	SNSを活用した相談・助言・指導	中高年齢層		
			フォロワーシップによる組織力の向上	中高年齢層		
			経験を活かした職場の安全確保（未然防止編）	中高年齢層		
			経験を活かした職場の安全確保（対策編）	中高年齢層		
			クラウドを活用したノウハウの蓄積と共有	中高年齢層		
			職業能力の整理とノウハウの継承	中高年齢層		
C 売上増加	営業・販売	顧客拡大を学びたい	職業能力の体系化と人材育成の進め方	中高年齢層	基本 項目 + 演習	基本 項目 + 演習 + 応用 ・ 実践 要素
			経験に基づく営業活動の見える化と継承	中高年齢層		
			効果的なOJTを実施するための指導法	中高年齢層		
			ノウハウの継承のための研修講師の育成	中高年齢層		
			作業手順の作成によるノウハウの継承	中高年齢層		
			若手従業員に気づきを与える安全衛生活動（実施編）	中高年齢層		
	顧客情報を学びたい	若手従業員に気づきを与える安全衛生活動（点検編）	中高年齢層			
		提案型営業手法	初任層			
		ビジネス現場における交渉力	初任層			
		提案型営業実践	中堅層			
		マーケティング志向の営業活動の分析と改善 DX	中堅層			
		統計データ解析とコンセプトメイキング DX	中堅層			
	マーケティング	顧客拡大を学びたい	オンライン営業技術 DX	初任、中堅層		
			顧客分析手法 DX	中堅層		
			顧客満足向上のためのCS調査とデータ分析 DX	中堅層		
			概論を学びたい	初任層		
			マーケティング戦略概論	中堅層		
			インターネットマーケティングの活用 DX	中堅層		
企画・シヨモ	サービス・商品開発を学びたい	インターネットマーケティングの活用 DX	中堅層			
		製品・市場戦略	中堅層			
		新サービス・商品開発の基本プロセス	中堅層			
		プロモーションとチャネル戦略 DX	中堅層			
		販売促進を学びたい	中堅層			
		チャンスをつかむインターネットビジネス DX	中堅層			
D IT業務改善	ネットワーク	ネットワーク活用を学びたい	ワイヤレス環境に必要な無線LANとセキュリティ DX	基本 項目 + 演習	基本 項目 + 演習 + 応用 ・ 実践 要素	
			社内ネットワークに役立つ管理手法 DX			
	データ活用	表計算ソフトの活用を学びたい	表計算ソフトを活用した業務改善			ITを活用した業務改善に取り組む方
			業務に役立つ表計算ソフトの関数活用			
			表計算ソフトを活用した効果的なデータの可視化			
			効率よく分析するためのデータ集計 DX			
			ピボットテーブルを活用したデータ分析 DX			
			品質管理に役立つグラフ活用 DX			
			表計算ソフトを活用した統計データ解析 DX			
			表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化			
			データベースソフトの活用を学びたい DX			
			データベースを活用したデータ処理（基本編） DX			
	データベースを活用した高度なデータ処理 DX					
	情報発信	インターネット活用を学びたい	ワープロソフトの活用を学びたい			ITを活用した情報発信に取り組む方
			業務効率を向上させるワープロソフト活用			
			プレゼンテーションソフト活用を学びたい			
			相手に伝わるプレゼン資料作成			
			集客につなげるホームページ作成			
SNSを活用した情報発信 DX						
セキュリティ	セキュリティ対策を学びたい	オンラインプレゼンテーション技術 DX	ITにおけるセキュリティ対策に取り組む方			
		脅威情報とセキュリティ対策 DX				
		情報漏えいの原因と対応・対策 DX				
		テレワークに対応したセキュリティ対策 DX				



高齢・障害者業務課のご案内

高齢者雇用に関する事業主支援

高齢者雇用に関する相談・援助

相談・援助の実施

企業等からの要請等に基づき、70歳雇用推進プランナー・高齢者雇用アドバイザー(※)が企業を訪問し、次の業務を行います。

- ・人事管理制度の整備、賃金・退職金制度の整備、職場改善、職域開発などについて、専門的・技術的な相談・助言を行います(無料)。
- ・70歳までの就業機会確保等に向けた高齢者戦力化のための**定年引上げ**や**継続雇用延長等の制度改定**に関する具体的な提案を行います(無料)。
- ・相談・助言によって明らかになった課題解決を図るため、**解決策を提案し企画立案等のサービス**を行います(有料)。
- ・**企業診断システム**を利用し、高齢者を活用する上での課題を「見える化」し、**課題解決策をアドバイス**します(無料)。
- ・制度改定のマニュアルや他社の取組みにおける**好事例を提供**します(無料)。

(※)70歳雇用推進プランナー・高齢者雇用アドバイザーとは、JEEDが委嘱し、全国に配置している高齢者雇用問題に精通した専門家(社会保険労務士、中小企業診断士、経営コンサルタントなど)です。



詳しくはコチラから



地域ワークショップの開催

毎年10月～11月に、「**生涯現役社会の実現に向けた地域ワークショップ**」を開催しています。主な内容は70歳までの就業機会の確保に向け高齢者雇用に取り組む先進的企業事例に関わる講演などです。



70歳雇用事例サイト



詳しくはコチラから

高齢者等の雇用安定のための給付金

高齢者等の雇用安定のための給付金は、高齢者が意欲と能力のある限り年齢にかかわらず働くことができる生涯現役社会を実現するため、**65歳以上への定年の引上げ、定年の定め廃止、66歳以上までの継続雇用制度の導入、他社による継続雇用制度の導入、高齢者の雇用管理制度の整備、50歳以上で定年年齢未満の有期契約労働者を無期雇用労働者に転換させた事業主**に対して支給します。

高齢・障害者業務課では、給付金の申請窓口として、制度のご紹介やご相談などの業務及び申請書の受付、点検などの業務を行っています。

《給付金一覧》

65歳超雇用推進助成金

- ・65歳超継続雇用促進コース(定年廃止や定年・継続雇用年齢を引き上げた事業主)
- ・高齢者評価制度等雇用管理改善コース(賃金制度や健康管理制度等の雇用管理制度を整備する事業主)
- ・高齢者無期雇用転換コース(有期契約労働者を無期雇用労働者に転換する事業主)



詳しくはコチラから

事業主



申請

JEED 栃木支部
高齢・障害者業務課

申請書の
受付・点検



障害者雇用に関する納付金、助成金、事業主支援

障害者雇用納付金等の申告申請受付

障害者を雇用するには、作業施設や設備の改善、職場環境の整備、特別の雇用管理等を必要とされることが多く、経済的負担を伴うことから、雇用義務を履行している事業主と履行していない事業主とは、経済的負担に差が生じることとなります。

障害者雇用納付金制度は、障害者を雇用することは事業主が共同して果たしていくべき責任であるという社会連帯責任の理念に立って、事業主間の障害者雇用に伴う経済的負担の調整を図るとともに、障害者を雇用する事業主に対して助成、援助を行うことにより、障害者の雇用の促進と職業の安定を図るため、「障害者の雇用の促進等に関する法律」において設けられた制度です。

常用雇用労働者の総数が100人を超える事業主は障害者雇用納付金の申告が必要です。そのうち、法定雇用率未達成の事業主は、法定雇用障害者数に不足する障害者数に応じて障害者雇用納付金の納付が必要です。一方、法定雇用率を超えて障害者を雇用している事業主には障害者雇用調整金を申請に基づき支給します。

そのほか、支給要件を満たしている事業主の申請に基づき、支給金を支給します。

高齢・障害者業務課では、障害者雇用納付金及び障害者雇用調整金等の申告申請に係る受付業務等を行っています。

常用雇用労働者数が100人を超える事業主が対象

法定雇用障害者数を下回っている
事業主



障害者雇用
納付金の納付



障害者雇用
調整金の支給

法定雇用障害者数を超えている
事業主



詳しくはコチラから

障害者雇用納付金制度に基づく助成金の申請受付

障害者雇用納付金制度に基づく助成金は、障害者雇用納付金を財源とし、事業主等が雇用する障害者個々の障害特性から生じる就業上の課題を解決するため、JEEDの予算の範囲内で支給するものです。事業主等が施設・設備の整備等や適切な雇用管理を図るための特別な措置を行わなければ、障害者の新規雇入れや雇用継続が困難であると認められる場合に、その費用の一部を助成します。

高齢・障害者業務課では、事業主等からの相談対応や申請書の受付などを行っています。

＜助成金一覧＞

- 障害者作業施設設置等助成金
- 障害者介助等助成金
- 職場適応援助者助成金
- 重度障害者等通勤対策助成金
- 障害者福祉施設設置等助成金
- 重度障害者多数雇用事業所施設設置等助成金



詳しくはコチラから



障害者雇用に関する事業主支援

地方アビリンピック(障害者技能競技大会)の開催

障害者の方々の日ごろ職場などでつちかっただ技能を互いに競い合うことにより、その職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々が障害者の方々に対する理解と認識を深め、その雇用の促進を図ることを目的として、地方アビリンピック(障害者技能競技大会)を開催しています。



アビリンピック
マスコットキャラクター
「アビリス」



第42回全国
アビリンピック
の様子

障害者雇用優良事業所等の表彰

障害者を積極的に雇用している事業所、障害者の雇用促進と職業の安定に貢献した団体または個人、及び模範的職業人として長期に勤続している障害者について、その努力と功績を称え、表彰を行っています。

障害者職業生活相談員資格認定講習の実施

5人以上の障害のある従業員が働いている事業所においては、「障害者の雇用の促進等に関する法律」により、障害者の職業生活全般にわたる相談・指導を行う障害者職業生活相談員を選任することが義務づけられており、その資格を認定する講習を開催しています。



詳しくはコチラから





さらなる**スキルアップ**を目指すなら 高度ポリテクセンター



年間、**約700コース**の豊富なカリキュラムをご用意しております
経験豊富な講師陣による実践的な研修内容です
社員教育の一環としてご利用ください

18の技術分野

切削・研削加工
塑性加工・金型
射出成形・金型・溶接
測定・検査・計測
材料・表面処理・機械保全

現場運営・改善
環境・安全
機械設計
自動化

電気設備・自動制御
パワーエレクトロニクス
電子回路・画像・信号処理
組込み・ICT
通信システム

人気コースの一例

- 金属材料の腐食対策
- カーボンニュートラルに向けた機械設計の進め方
- 実習でわかる省エネ診断と工場における省エネルギー技術
- AI・画像処理技術<集中育成コース>
- データサイエンス技術<集中育成コース>

詳しくは、公式サイトまたは当センターのコースガイドをご覧ください



お問合せ先

高度ポリテクセンター
TEL.043-296-2582(事業課)

〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2
E-Mail : kodo-poly02@jeed.go.jp



公式サイト



X (旧Twitter)



YouTube



Instagram



従業員に能力開発セミナーを受講させる事業主の皆様へ

国の助成金制度を 活用してみませんか？

人材開発支援助成金は、事業主等が社員のスキルアップに取り組む場合に、助成する制度です。

人材開発支援助成金のメリット

少ない負担で研修や訓練を実施できる

従業員の生産性が向上する

従業員と企業の底上げにつながる

国民の皆様 아이디어をもとに創設！

人への投資促進コース

オンラインの定額制受け放題サービスで
効率的にスキルアップさせたい！

定額制訓練

高度デジタル人材訓練
／成長分野等人材訓練

情報技術分野認定
実習併用職業訓練

自発的職業能力
開発訓練

長期教育訓練
休暇等制度

新しい事業展開やDX化・グリーン化に伴う人材育成に取り組むなら！

事業展開等リスキリング支援コース

既存事業にとらわれず、新規事業の立ち上げ等の事業展開に伴う人材育成、業務の効率化や脱炭素化などに取り組むため、デジタル・グリーン化に対応した人材の育成に取り組む事業主を対象に訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を支援する制度です。

上記メニューの他にも、様々なコース(仕事に必要な専門スキル研修への助成など)をご用意しています。

従業員に能力開発セミナーを受講させる事業主の方は、詳細な受給要件をご説明いたしますので、下記の問い合わせ先へぜひご相談ください。また、申請手続きの方法や受給要件等については、厚生労働省のHPをご覧ください。

問合せ先

栃木労働局助成金事務センター

TEL.028-614-2263

厚生労働省ホームページはこちら

人材開発支援助成金

検索





栃木県立産業技術専門学校におけるスキルアップ講習の御案内



栃木県立産業技術専門学校では、企業に在職している方を対象として、技能の向上、各種資格取得を目的としたスキルアップ講習を実施しています。ここでは、主に溶接作業に関連した特別教育や技能講習などのコースを御紹介します。その他のスキルアップ講習に関する内容や申込方法等につきましては、講習を実施する各産業技術専門学校に直接お問い合わせください。



アーク溶接作業の様子▶

県央産業技術専門学校

No.	コース名	概要	日程	時間/日数	定員	受講料(税込)
1	ガス溶接技能講習Ⅰ	ガス溶接等の作業に従事するための資格を取得する (法令に基づく学科及び実技、修了試験有り)	7/4~7/5	2日間 14時間	15名	5,040円
2	ガス溶接技能講習Ⅱ		R7.2/20~ 2/21			
3	アーク溶接特別教育Ⅰ	アーク溶接等の作業に従事するための資格を取得する (法令に基づく学科及び実技)	5/22~5/24	3日間 21時間		
4	アーク溶接特別教育Ⅱ		10/9~10/11			
5	アーク溶接特別教育Ⅲ		R7.1/22~ 1/24			
6	技能検定準備講習 (構造物鉄工Ⅰ級・2級)	構造物鉄工実技試験に必要な知識と技能を習得する (現図、加工、組立の解説と演習)	6/5~6/7	3日間 18時間		

県北産業技術専門学校

No.	コース名	概要	日程	時間/日数	定員	受講料(税込)
1	ガス溶接技能講習Ⅰ	ガス溶接等の作業に従事するための資格を取得する (法令に基づく学科及び実技、修了試験有り)	7/8~7/9	2日間 14時間	20名	5,040円
2	ガス溶接技能講習Ⅱ		10/30~ 10/31			
3	アーク溶接特別教育Ⅰ	アーク溶接等の作業に従事するための資格を取得する (法令に基づく学科及び実技)	5/29~5/31	3日間 21時間		
4	アーク溶接特別教育Ⅱ		11/6~11/8			

県南産業技術専門学校

No.	コース名	概要	日程	時間/日数	定員	受講料(税込)
1	ガス溶接技能講習Ⅰ	ガス溶接等の作業に従事するための資格を取得する (法令に基づく学科及び実技、修了試験有り)	7/30~7/31	2日間 14時間	20名	5,040円
2	ガス溶接技能講習Ⅱ		R7.2/12~ 2/13			
3	アーク溶接特別教育Ⅰ	アーク溶接等の作業に従事するための資格を取得する (法令に基づく学科及び実技)	5/28~5/30	3日間 21時間		
4	アーク溶接特別教育Ⅱ		11/12~ 11/14			

【お問い合わせ先】



栃木県立県央産業技術専門学校
〒321-0905 宇都宮市平出工業団地48-4
TEL.028-689-6380
<https://www.tochigi-it.ac.jp/keno/>

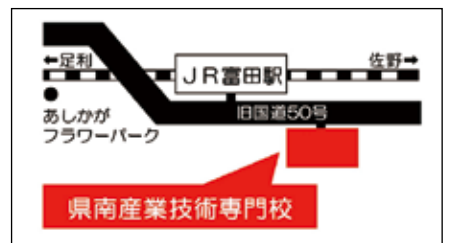
LRT「宇都宮駅東口」⇒「陽東3丁目」約8分
「陽東3丁目」下車後 徒歩約6分



栃木県立県北産業技術専門学校
〒325-0001 那須町高久甲5226-24
TEL.0287-64-4000
<https://www.tochigi-it.ac.jp/kenhoku/>



栃木県立県南産業技術専門学校
〒329-4214 足利市多田木町76
TEL.0284-91-0803
<https://www.tochigi-it.ac.jp/kennan/>





独立行政法人高齢・障害求職者雇用支援機構からのお知らせ

全国の『能力開発セミナー』が「**まとめて**、わかる!

能力開発セミナー詳細情報の検索方法

能力開発セミナーのコースの詳細情報は、各施設のホームページで確認できますが、ここでは、全国から収集した在職者向けの情報から気になるコースの内容や実施時期、会場をまとめて検索することができます。

当機構で実施している能力開発コースを「コース名」、「能力開発分野」、「都道府県」で検索でき、必要な能力開発コースの「コース概要」、「日程」、「受講料」、「実施している機関の概要」などの情報を調べることができます。

※各コースの詳細、お申込については各実施施設に直接お問い合わせください。

https://www.tetras.uitec.jeed.go.jp/noukai/wp5/wp5_1.php



能力開発コース情報



☑ コース名 (キーワード検索)

入力:

あなたが受講したいと思っている専門分野、技能等の用語を入力しても検索できます。
例) 金型、CAE、マイコン、画像処理、電気、建築、システム開発、・・・

☑ コースの開催地 (2種類の検索方法があります)

方法その1

都道府県別 選択 (複数選択できます。)

<input type="checkbox"/> 北海道				
<input type="checkbox"/> 東北				
<input type="checkbox"/> 青森	<input type="checkbox"/> 岩手			
<input type="checkbox"/> 秋田	<input type="checkbox"/> 宮城			
<input type="checkbox"/> 山形	<input type="checkbox"/> 福島			
<input type="checkbox"/> 九州	<input type="checkbox"/> 中国	<input type="checkbox"/> 近畿	<input type="checkbox"/> 北陸	<input type="checkbox"/> 関東
<input type="checkbox"/> 佐賀	<input type="checkbox"/> 福岡	<input type="checkbox"/> 島根	<input type="checkbox"/> 鳥取	<input type="checkbox"/> 滋賀
<input type="checkbox"/> 石川	<input type="checkbox"/> 新潟	<input type="checkbox"/> 群馬	<input type="checkbox"/> 栃木	
<input type="checkbox"/> 長崎	<input type="checkbox"/> 大分	<input type="checkbox"/> 広島	<input type="checkbox"/> 岡山	<input type="checkbox"/> 京都
<input type="checkbox"/> 福井	<input type="checkbox"/> 富山	<input type="checkbox"/> 埼玉	<input type="checkbox"/> 茨城	
<input type="checkbox"/> 熊本	<input type="checkbox"/> 宮崎	<input type="checkbox"/> 山口	<input type="checkbox"/> 兵庫	<input type="checkbox"/> 中部
<input type="checkbox"/> 東京	<input type="checkbox"/> 千葉			
<input type="checkbox"/> 鹿児島	<input type="checkbox"/> 四国	<input type="checkbox"/> 大阪	<input type="checkbox"/> 長野	<input type="checkbox"/> 山梨
<input type="checkbox"/> 神奈川				
<input type="checkbox"/> 沖縄	<input type="checkbox"/> 愛媛	<input type="checkbox"/> 香川	<input type="checkbox"/> 奈良	<input type="checkbox"/> 岐阜
	<input type="checkbox"/> 静岡			
	<input type="checkbox"/> 高知	<input type="checkbox"/> 徳島	<input type="checkbox"/> 和歌山	<input type="checkbox"/> 三重
		<input type="checkbox"/> 愛知		

方法その2

区市町村名入力:

都道府県別選択にない市区町名などを入力してください。

例) 札幌、仙台、横浜、川崎、名古屋、神戸、北九州、新宿、渋谷...

【利用上の注意】

公開されている情報は、各能力開発・教育機関から登録された内容に基づき掲載しています。

本データベースは、随時データの更新を行っておりますが、必ずしも利用時点で最新情報ではない場合があります。

本データベース情報を営利、営業等を目的に無断で使用することを禁止します。

高齢・障害・求職者雇用支援機構は、この検索サービスに起因する一切の損害・不利益等について責任を負いません。利用者の責任においてご利用ください。



関東地方だけでも13施設！
栃木・群馬・茨城etc..

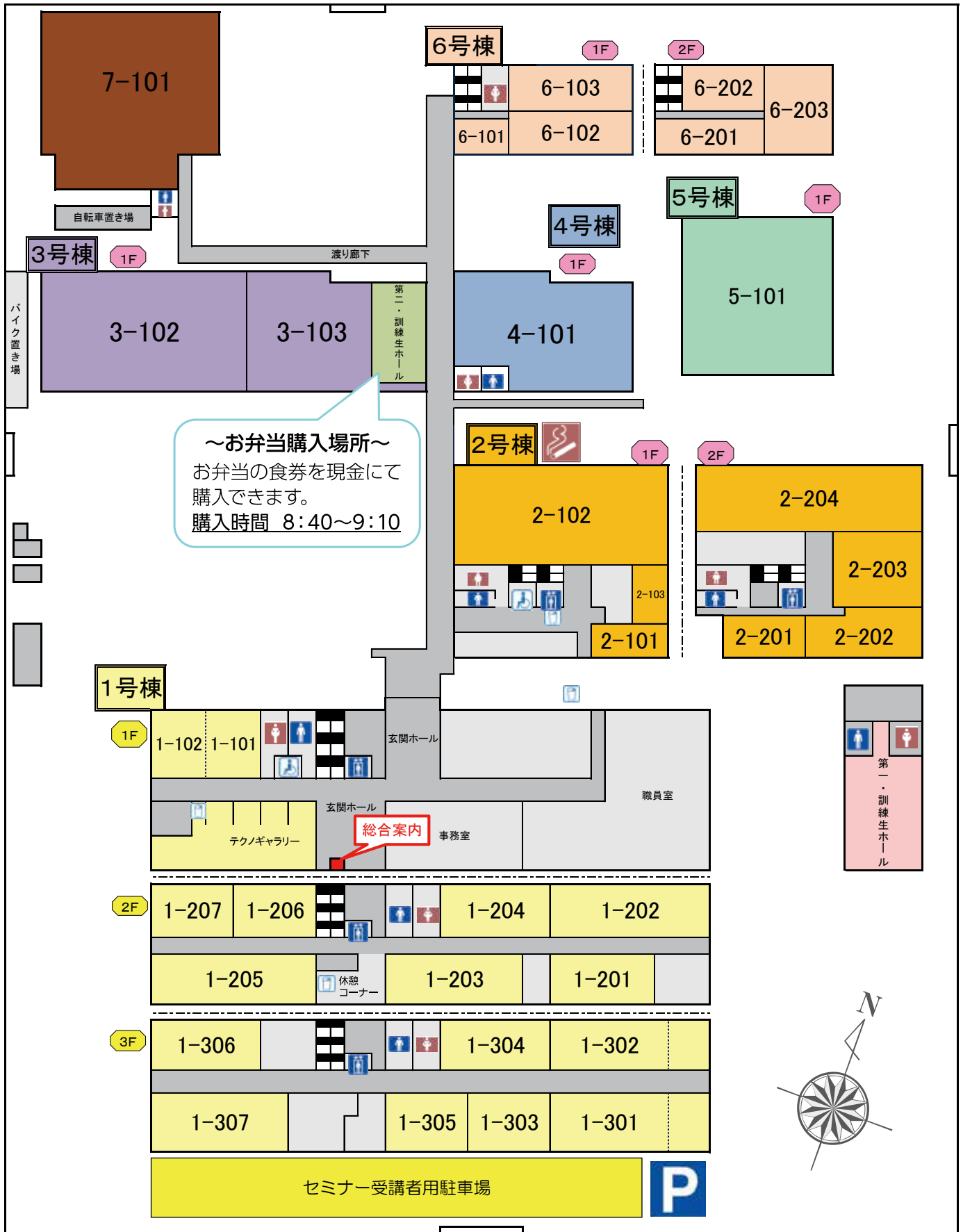
職業能力開発施設のご案内



- 1** ポリテクセンター群馬（群馬職業能力開発促進センター） ポリテク群馬 [🔍検索](#)
〒370-1213 群馬県高崎市山名町 918 TEL.027-347-3905 FAX.027-347-6668
- 2** ポリテクセンター栃木（栃木職業能力開発促進センター） ポリテク栃木 [🔍検索](#)
〒320-0072 栃木県宇都宮市若草 1-4-23 TEL.028-621-0581 FAX.028-622-9498
- 3** ポリテクセンター茨城（茨城職業能力開発促進センター） ポリテク茨城 [🔍検索](#)
〒303-0033 茨城県常総市水海道高野町 591 TEL.0297-22-8819 FAX.0297-22-8822
- 4** ポリテクセンター埼玉（埼玉職業能力開発促進センター） ポリテク埼玉 [🔍検索](#)
〒336-0931 埼玉県さいたま市緑区原山 2-18-8 TEL.048-882-4003 FAX.048-882-4070
- 5** ポリテクセンター山梨（山梨職業能力開発促進センター） ポリテク山梨 [🔍検索](#)
〒400-0854 山梨県甲府市中小河原町 403-1 TEL.055-242-3066 FAX.055-242-3068
- 6** ポリテクセンター関東（関東職業能力開発促進センター） ポリテク関東 [🔍検索](#)
〒241-0824 神奈川県横浜市旭区南希望が丘 78 TEL.045-391-2819 FAX.045-391-9699
- 7** 高度ポリテクセンター（千葉職業能力開発促進センター高度訓練センター） 高度ポリテク [🔍検索](#)
〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉 3-1-2 TEL.043-296-2582 FAX.043-296-2585
- 8** ポリテクセンター千葉（千葉職業能力開発促進センター） ポリテク千葉 [🔍検索](#)
〒263-0004 千葉県千葉市稲毛区六方町 274 TEL.043-422-4622 FAX.043-304-2132
- 9** ポリテクセンター君津（千葉職業能力開発促進センター君津訓練センター） ポリテク君津 [🔍検索](#)
〒299-1142 千葉県君津市坂田 428 TEL.0439-57-6313 FAX.0439-57-6386
- 1** 関東職業能力開発大学校（関東ポリテクカレッジ） 関東ポリテクカレッジ [🔍検索](#)
〒323-0813 栃木県小山市横倉 612-1 TEL.0285-31-1733 FAX.0285-27-0240
- 2** 千葉職業能力開発短期大学校千葉校（ポリテクカレッジ千葉 千葉キャンパス） ポリテクカレッジ千葉 [🔍検索](#)
〒260-0025 千葉県千葉市中央区問屋町 2-25 TEL.043-242-4193 FAX.043-248-5072
- 3** 千葉職業能力開発短期大学校成田校（ポリテクカレッジ千葉 成田キャンパス） ポリテクカレッジ千葉 [🔍検索](#)
〒286-0045 千葉県成田市並木町 221-20 TEL.0476-22-4351 FAX.0476-22-4347
- 4** 港湾職業能力開発短期大学校横浜校（港湾カレッジ） 港湾カレッジ [🔍検索](#)
〒231-0811 神奈川県横浜市中区本牧心頭 1 TEL.045-621-5932 FAX.045-623-7171

施設案内図

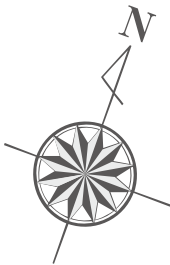
※ 実習場建替え工事中のため、事前にお送りする受講のご案内等をご確認ください。



～お弁当購入場所～
お弁当の食券を現金にて購入できます。
購入時間 8:40～9:10

総合案内

第一・訓練生ホール



正門

ACCESS — アクセス —



交通機関をご利用の場合

●JR宇都宮駅から

JR宇都宮駅西口バス乗り場①から、関東バス「50清住・細谷車庫」又はバス乗り場②から、関東バス「54西埴田・宝木団地」に乗りし「戸祭」下車(乗車時間約30分)。
停留所から徒歩約1分。

●東武宇都宮駅から

「東武駅前」から、関東バス「50清住・細谷車庫」に乗りし「戸祭」下車。(乗車時間約20分)。
停留所から徒歩約1分。

車でお越しの場合

東北自動車道宇都宮インターから約15分、鹿沼インターから約20分。
とちぎ福祉プラザ南側。駐車場有。カーナビは【TEL.028-622-9497】

業務時間

午前9時～午後5時15分まで(土・日・祝日および年末年始(12/29～1/3)を除く)

らしく、はたらく、
ともに

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構栃木支部



ポリテクセンター栃木 (栃木職業能力開発促進センター)

〒320-0072 栃木県宇都宮市若草1丁目4番23号

TEL028 (621) 0581 FAX028 (622) 9498

<https://www3.jeed.go.jp/tochigi/poly/>

ポリテク栃木

検索



2024.2月版



ポリテクセンター栃木は、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。